

Brother Laser Printer

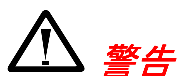
HL-1440/HL-1470N

取扱説明書

Version B

安全に正しくお使いいただくために

本書では、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次のような安全表示をおこなっています。



ここに記載されている内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



製品を的確に使用していただき、製品への損傷を避けるための注意事項です。



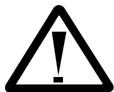
製品の使用にあたり、お客様に役に立つ情報です。

サポートページ Brother Solutions Center（http://solutions.brother.co.jp）にアクセスすることができます。最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをはじめ、Q&A、便利な機能紹介、その他プリンタをお使いいただく上で有益な情報をご用意しています。ぜひご利用ください。

お客様相談窓口　　　０５２－８２４－３３７８
本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のダイヤルにお気軽にお申し付けください。
受付時間　　　９：００－１２：００　１３：００－１７：００
営業日　　　月曜日－金曜日　（土・日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます）

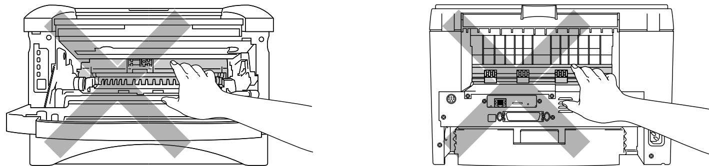
本書をお読みになってから製品を使用してください。
プリンタ本体に同梱されているCD-ROMは、紛失しないように注意し、いつでも参照できるように保管してください。

安全上のご注意

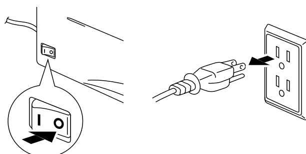


警告

- プリンタの使用直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面カバーを開ける際には、**下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。**



- プリンタ内部には、電圧の高いものがあります。プリンタのクリーニングをするときは、必ず電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。





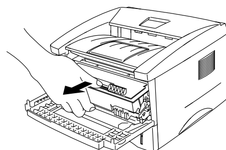
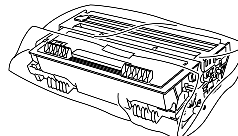
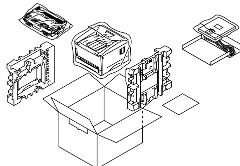
注意

- クリーニングには水か中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンなどの揮発性液体を使用すると、プリンタの表面が損傷を受けます。
- アンモニアを含有するクリーニング材料を使用しないでください。プリンタとトナーカートリッジが損傷を受けます。

プリンタの輸送について

輸送中の損傷を避けるために、輸送の際にはプリンタを正しく梱包してください。お買い上げ時に使われていた梱包材を保管してお使い頂くことをおすすめします。また、輸送に際しては十分な保険をおかけください。

プリンタの輸送に際し、トナーカートリッジ付きのドラムユニットは、プリンタから取り出してビニール袋にお入れください。<u>プリンタに入れたまま輸送した場合、プリンタが破損する恐れがあり、保証の対象になりません。</u>

1　ドラムユニットを取り出します。 	**2　ビニール袋にドラムユニットを入れて、しっかりと封をします。** 
3　電源コードをプリンタから外し、プリンタを梱包します。 	

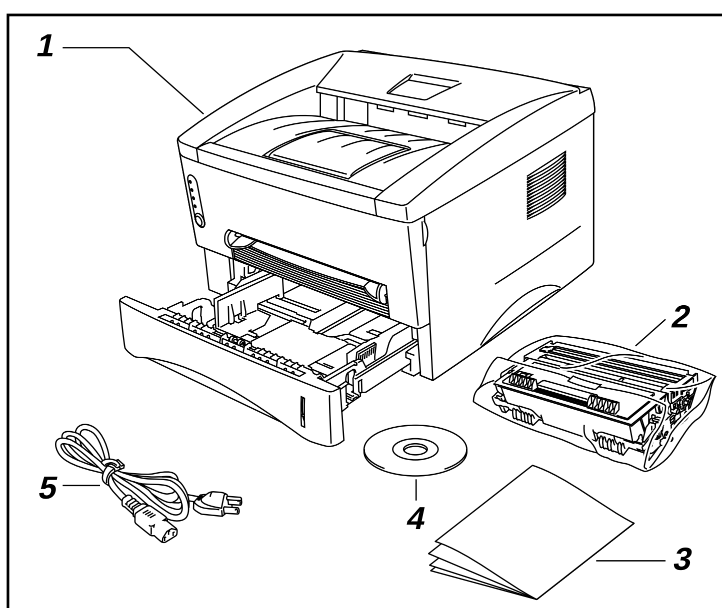
第1章
はじめに

第 1 章 はじめに

プリンタと付属品

同梱物

プリンタを箱から取り出したら、最初に以下の同梱物があることを確認してください。



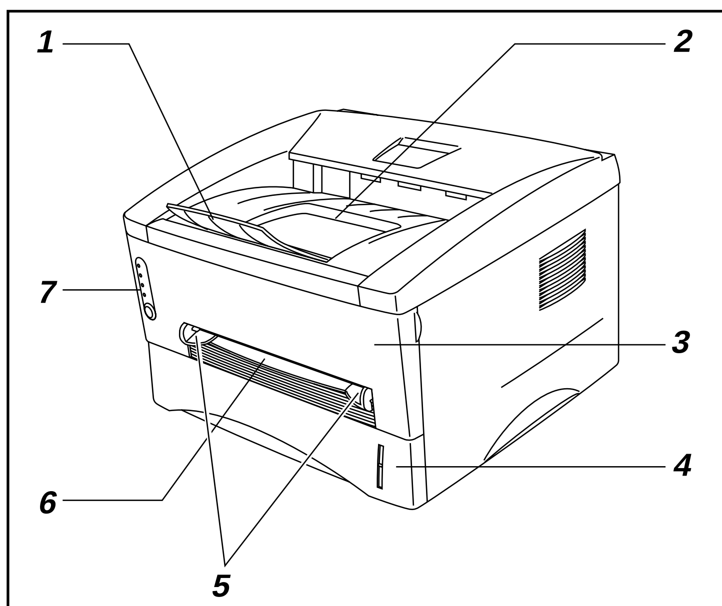
1. **プリンタ本体**
2. **ドラムユニット**
   （トナーカートリッジ含む）
3. **印刷物**
   クイックセットアップガイド
   クイックネットワークセット
   アップガイド（HL-1470Nのみ）
4. CD-ROM
5. **電源コード**

❖ インタフェースケーブル

インタフェースケーブルは標準添付品ではありません。コンピュータによってはUSBポートとパラレルポートの両方を備えているものがあります。ご使用になるインタフェースに適合するケーブルをお求めください。
パラレルインタフェースをご使用になる場合には、本プリンタの機能を最大限に引き出すため、IEEE1284のパラレルケーブルをお使いいただくことをおすすめします。3メートルを超えるパラレルケーブルは使用しないでください。
USBケーブルを使用する場合は、必ず高速ツイストケーブル（12Mbps）を使用し、これをご使用のコンピュータUSBポートに接続してください。ｉＭａｃのキーボードにあるUSBポートには接続しないでください。

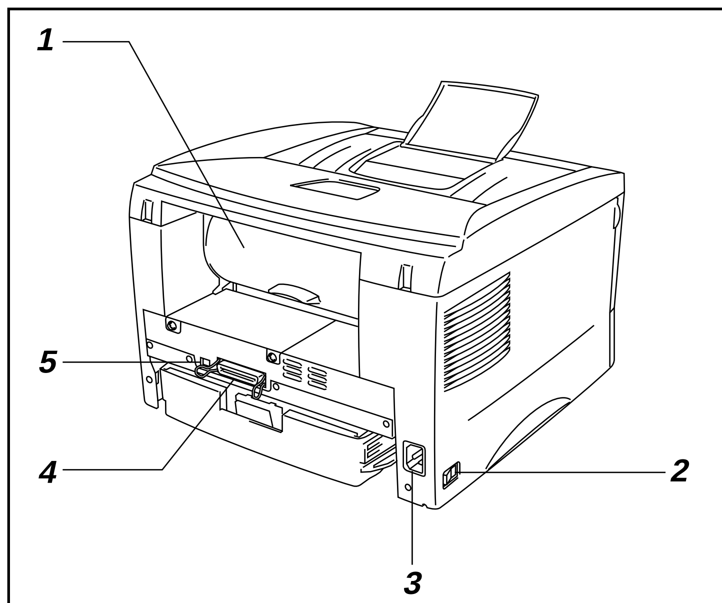
❖ 全体的な外観

♦ 前面



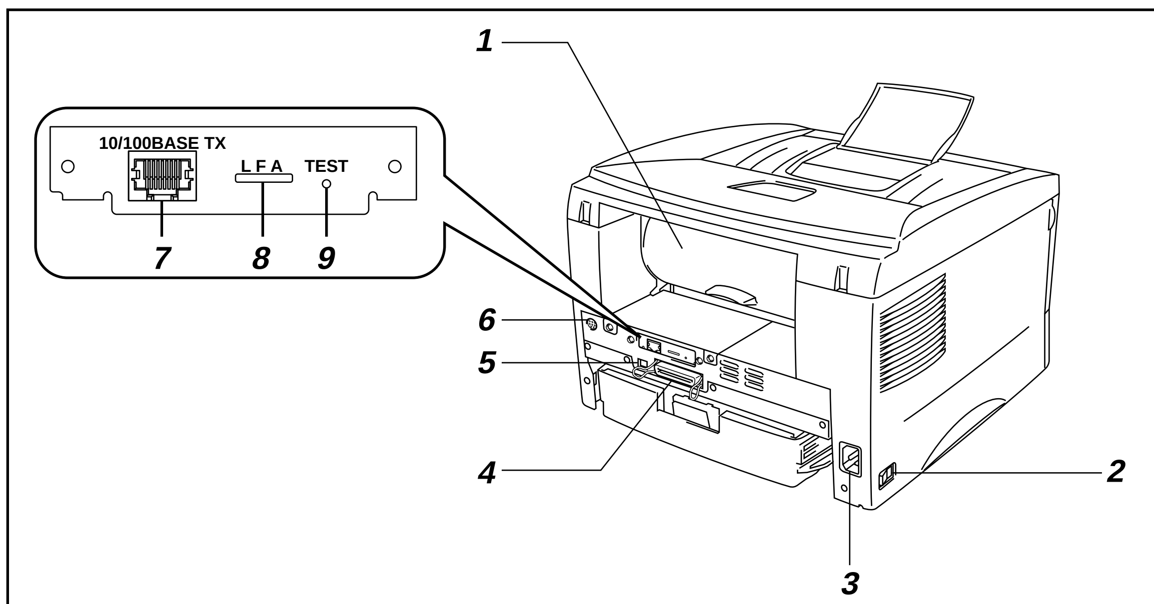
1. 排紙フラップ
2. 上部排紙トレイ
3. フロントカバー
4. 用紙カセット
5. 手差し用紙ガイド
6. 手差しスロット
7. コントロールパネル

♦ 背面 (HL-1440)



1. 背面カバー
2. 電源スイッチ
3. 電源コード差し込み口
4. パラレルポート
5. USBポート

♦ 背面 (HL-1470N)



1. 背面カバー
2. 電源スイッチ
3. 電源コード差し込み口
4. パラレルポート
5. USBポート
6. ローワートレイユニット用コネクタ
7. 10/100 Base TXポート
8. LED
9. テストボタン

プリンタの設置

プリンタのご使用前に、以下の点に注意してください。

電源

プリンタは規定された電源の範囲で使用してください。
AC電源 ：　　ＡＣ 100Ｖ
周波数 ：　　50/60 Ｈｚ

電源コードは、延長コードを使用する場合を含めて、5メートルを越えないようにしてください。

とくにエアコン、コピー機、シュレッダーなど、高電力機器と同じ回路でプリンタを使用しないでください。どうしてもこれらの機器と同じ回路でプリンタを使用することが避けられない場合には、高周波ノイズフィルタを使用することをおすすめします。

環境

プリンタは以下の温度範囲および湿度範囲で使用してください。

周辺温度：　10°C～32.5°C
周辺湿度：　20%～80%（結露がないこと）

プリンタ側面にある通気孔をふさがないでください。 プリンタの上、とくに通気孔の上に物を置かないでください。

プリンタを使用する部屋は換気を良くしてください。

プリンタが直射日光が当たる場所には置かないでください。やむを得ず窓の近くにプリンタを置く場合は、直射日光からプリンタを守るようにブラインドやカーテンを引いてください。

磁気製品の近くにはプリンタを置かないでください。

プリンタに強い衝撃や振動を与えないでください。
火気や塩分、腐食性ガスのある場所にプリンタを置かないでください。

プリンタは平らな面に水平に置いてください。

プリンタは清潔な状態で使用してください。ほこりの多い場所には置かないでください。 エアコンの近くにプリンタを置かないでください。

プリンタの通気孔をふさぐようにプリンタを置かないでください。
通気孔と壁は、10cm以上離してください。

使用できる紙について

印刷用紙と寸法

プリンタは通常、取り付けられている本体用紙カセット、またはオプションのローワートレイユニットから用紙を給紙します。
プリンタドライバ上では下記の名称で表示しています。

本体用紙カセット	トレイ1
手差しスロット	手差し
ローワートレイユニット	トレイ2 （HL-1470N専用）

下表のチェックマークをクリックすると、それぞれの用紙のセット用法がご覧いただけます。

用紙の種類	*トレイ1*	*手差しスロット*	*トレイ2*	*プリンタドライバで用紙媒体を選択*
普通紙	✔	✔	✔	普通紙もしくは普通紙（厚め）
再生紙	✔	✔	✔	普通紙
ボンド紙	✔	✔	✔	ボンド紙
厚紙		✔		厚紙（ハガキ）または超厚紙
OHP用紙	✔ 最大10枚	✔ A4、レター紙のみ		OHP
ラベル		✔ A4、レター紙のみ		普通紙もしくは普通紙（厚め）
封筒		✔		厚紙（ハガキ）もしくは超厚紙
はがき	✔	✔		厚紙（ハガキ）もしくは超厚紙

	トレイ1	*手差しスロット*	*トレイ2（オプション）*
用紙サイズ	A4、レター、B5(JIS)、A5、官製はがき	A4、レター、B5、A5、A6、エグゼクティブ、システム手帳用紙、封筒（洋型4号、定型最大 120 x 235 mm)、官製はがき	A4、レター、B5(JIS)、A5
容量	250枚（80 g/m^2）	1枚	250枚（80 g/m^2）

推奨用紙

	日本
OHP用紙	住友3M CG 3300
ラベル	エーワンレーザーラベル 28362

大量の用紙を購入する前に、必ず小部数を印刷してみて、用紙が適切であることを確認してください。

普通紙コピー用の用紙をご使用ください。

用紙厚は 60 ～90 g/m2までのものをご使用ください。

用紙は中性紙を使用し、酸性紙は使用しないでください。

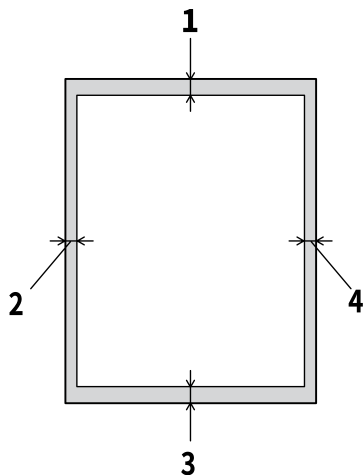
用紙は縦目でご使用ください。

用紙の水分は約5%のものをご使用ください。

印刷可能領域

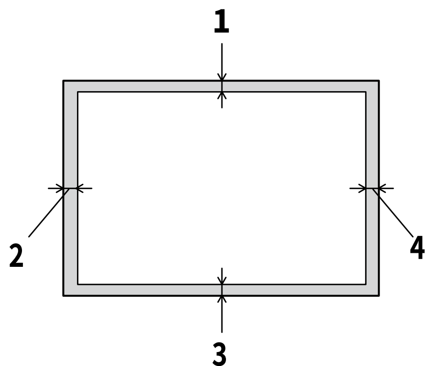
下図は印刷可能領域を示します。

縦方向



1	4.2 mm
2	6.01 mm
3	4.2 mm
4	6.01 mm

横方向



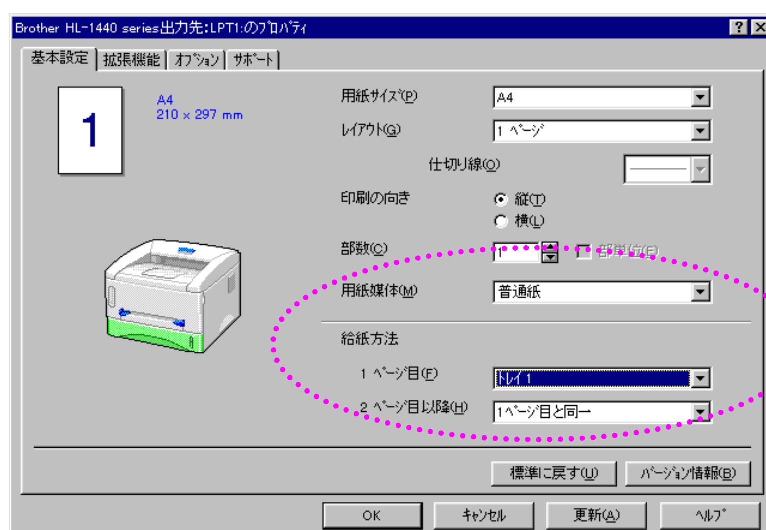
1	4.2 mm
2	5.0 mm
3	4.2 mm
4	5.0 mm

普通紙への印刷

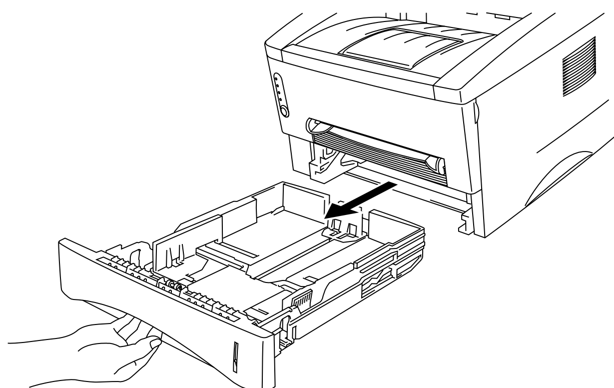
用紙カセットからの印刷

1. 用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などをプリンタドライバで設定します。

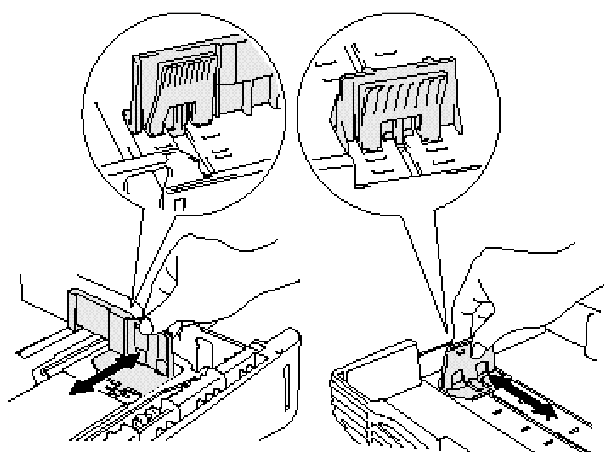
用紙媒体：普通紙
給紙方法 1ページ目：トレイ1



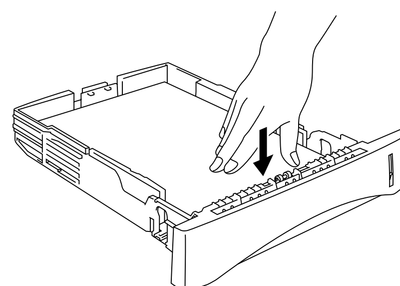
2. プリンタから用紙カセットを引き出します。



3. ペーパーガイドレバーをつまみながら、スライドさせて用紙のサイズに合わせます。ペーパーガイドがセットする用紙サイズの溝にはまっていることを確認してください。

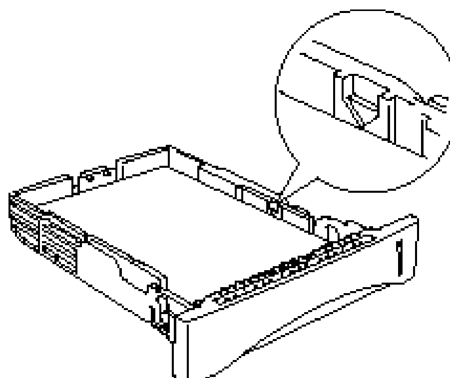


4. 本体用紙カセットに用紙をセットします。セットされた用紙が ▼ マークより下になっていること、また平らであることを確認してください。



➡ 注

- 用紙カセットに紙を250枚（80 g/m2）以上入れないでください。 紙づまりが起こる可能性があります。用紙は ▼ マークまで入れることができます。

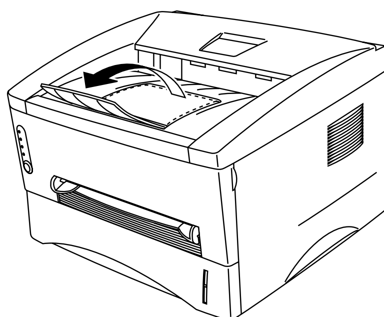


- 片面をすでに印刷した紙に印刷する場合には印刷する面（白紙面）を下向きにして用紙カセットに入れてください。

5. 用紙カセットをプリンタに入れます。

➡ 注

- 印刷された用紙が上部排紙トレイから滑り落ちないように排紙フラップを伸ばします。



- 排紙フラップを伸ばさない場合には、プリンタから印刷された用紙が出てきたらすぐに取り除くようにすることをおすすめします。

6. 印刷データをプリンタに送ります。

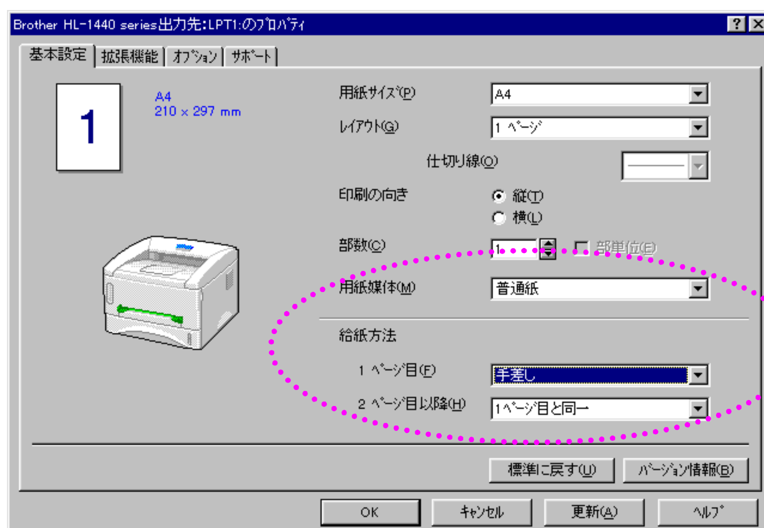
手差しスロットからの印刷

✏ 注

手差しスロットから用紙を入れると、プリンタは自動的に手差しからの印刷モードに変わります。

1. 用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などをプリンタドライバで設定します。

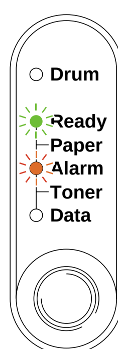
用紙媒体：普通紙
給紙方法　1ページ目：手差し



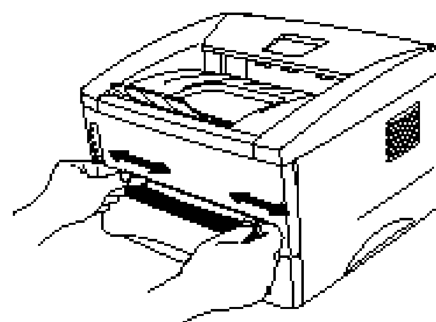
2. 印刷データをプリンタに送ります。

✏ 注

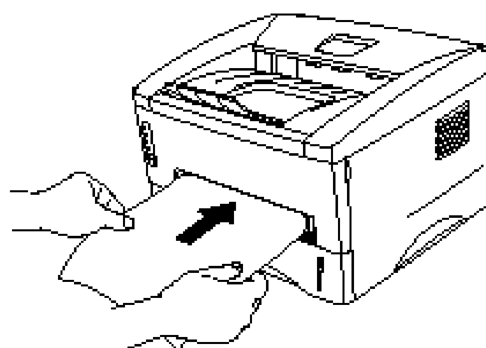
手差しスロットに給紙するまで、“ 紙切れ ” メッセージがコントロールパネルLEDに表示されます。



3. 両手で手差しスロットの用紙ガイドを使用する用紙の幅に合わせてスライドさせせます。



4. 用紙を両手で持って、手差しスロットから用紙を挿入し、先端が給紙ローラーに触れるまで差し込みます。用紙をこの位置で保持し、プリンタが自動的に少し給紙したら、用紙から手を離します。



注

手差しスロットに紙を挿入するときは、これから印刷しようとする面（白紙面）を上に向けます。

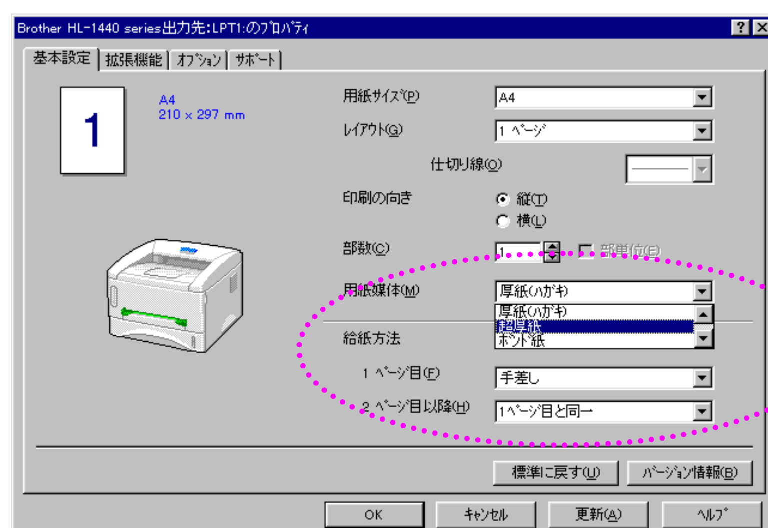
5. 印刷した用紙をプリンタが排出したら、ステップ４にしたがって次の用紙を挿入します。プリンタは、次の用紙が挿入されるまで待機します。印刷枚数分、この動作を繰り返してください。

厚紙およびはがきの印刷

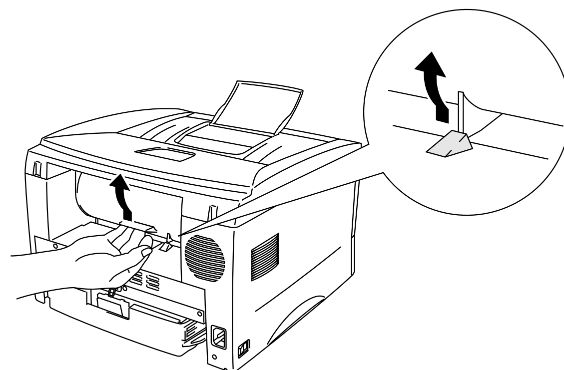
プリンタの背面カバーを上げると手差しスロットから背面までがほぼストレートになります。厚紙やはがきに印刷する際は、反りがほとんど無く印刷ができます。用紙の選択はこの章の「使用できる紙について」をご覧ください。

1. 用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などをプリンタドライバで設定します。

用紙媒体：厚紙（ハガキ）または超厚紙
給紙方法　1ページ目：手差し



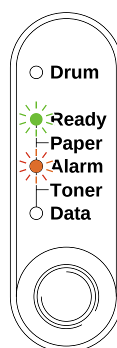
2. 背面カバーを上げます。



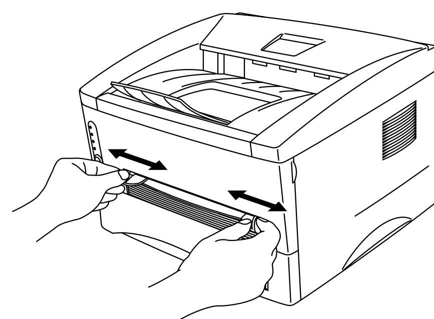
3. 印刷データをプリンタに送ります。

注

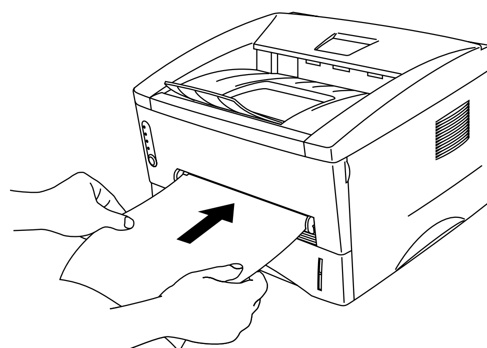
手差しスロットに給紙するまで、“ 紙切れ ” メッセージがコントロールパネルLED に表示されます。



4. 両手で手差し用紙ガイドを用紙幅に合わせます。



5. 用紙を両手で持って、手差しスロットから用紙を挿入し、先端が給紙ローラーに触れるまで差し込みます。用紙をこの位置で保持し、プリンタが自動的に少し給紙したら、用紙から手を離します。

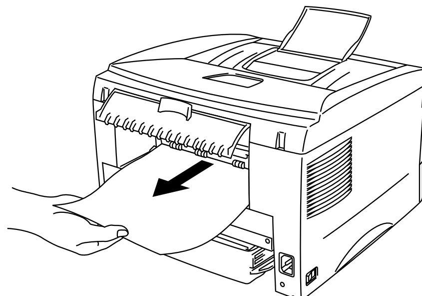


6. プリンタは印刷した用紙を排出した後､次の用紙が挿入されるまで待機しています。必要な枚数の用紙が印刷されるまで手順5を繰り返してください。

7. 印刷が終了したら、背面カバーを閉じます。

注意

1枚印刷し終わるごとに、印刷した用紙をすぐに取り除いてください。印刷した用紙を排出口に溜めておくと、反りや紙づまりの原因になります。



封筒の印刷

プリンタの背面カバーを上げると手差しスロットから背面までがほぼストレートになります。封筒に印刷する際は、反りがほとんど無く印刷ができます。
用紙の選択はこの章の「使用できる紙について」をご覧ください。

注

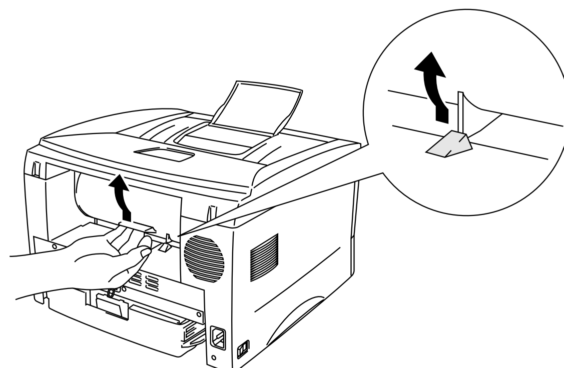
手差しスロットから用紙を入れると、プリンタは自動的に手差しからの印刷モードに変わります。

1. 用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などをプリンタドライバで設定します。

用紙媒体：厚紙（ハガキ）
 給紙方法　1ページ目：手差し

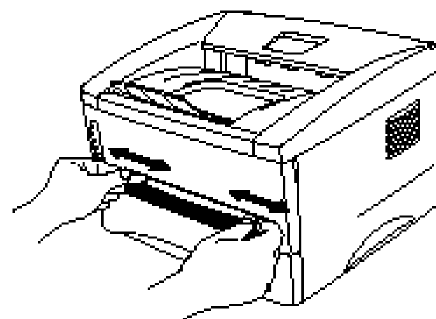


2. 背面カバーを上げます。

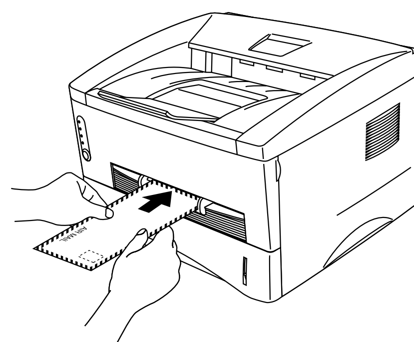


3. 印刷データをプリンタに送ります。

4. 両手で手差しスロットの用紙ガイドを封筒の幅に合わせます。



5. 用紙を両手で持って、手差しスロットから封筒を挿入し、先端が給紙ローラーに触れるまで差し込みます。封筒をこの位置で保持し、プリンタが自動的に少し給紙したら、封筒から手を離します。



注

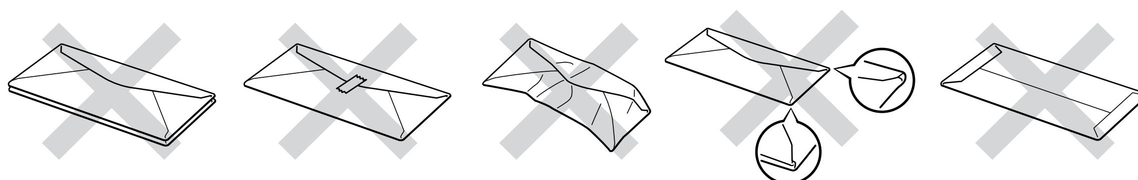
手差しスロットに封筒を挿入するときは、印刷される面（白紙面）を上に向けて差し込みます。

6. プリンタは印刷済みの封筒を排出した後､次の封筒が挿入するまで待機しています。必要な枚数の封筒が印刷されるまで、手順5を繰り返してください。

7. 印刷終了後、背面カバーを閉じます。

♦ 下記のような封筒は使用しないでください。

- 破れ、反り、しわのある封筒、あるいは規格外の封筒
- 極端に光沢のある封筒、表面がすべりやすい封筒
- とめ金、スナップ、ひもなどが付いた封筒
- 粘着加工を施した封筒
- 袋状加工の封筒
- 折り目がしっかりついていない封筒
- エンボス加工の封筒
- レーザープリンタで一度印刷された封筒
- 内部が印刷された封筒
- 一定に積み重ねられない封筒
- プリンタの印刷可能用紙坪量指定を越える用紙で製造されている封筒
- 作りが不良で、端部がまっすぐでなかったり、一貫して四角になっていない封筒
- 透明な窓付、穴付、くりぬき付、ミシン目付などの封筒
- タテ形（和形）の封筒



以上にリストした種類の封筒を使用すると、プリンタが故障する可能性があります。この場合の故障は保証あるいはサービス契約の対象には含まれませんのでご注意ください。

注

- 封筒を印刷する際には紙づまりや給紙ミスを防ぐため、あらかじめ封筒をよくさばき、正しくセットしてください。
- 封筒に両面印刷することはできません。
- 印刷を正しく行うためには、アプリケーションソフトウェアでの用紙サイズの設定とトレイにセットされた用紙のサイズの設定を同じにしてください。

OHP用紙への印刷

OHP用紙への印刷は用紙カセットまたは手差しスロットから給紙できます。

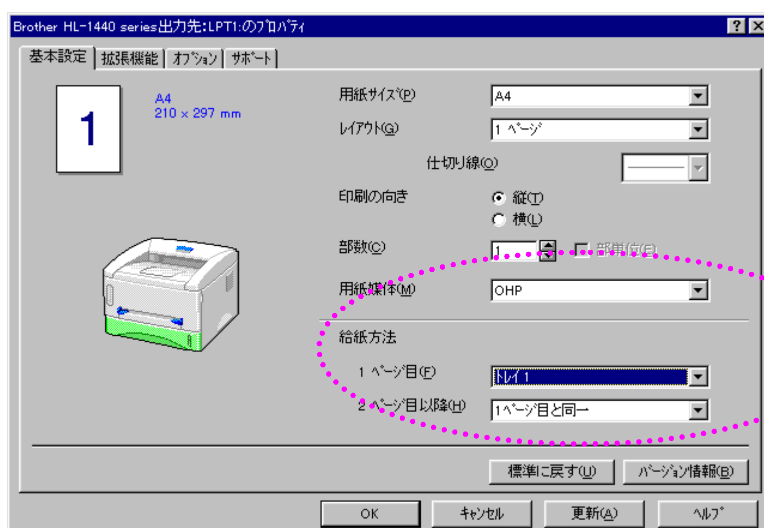
用紙カセットからの印刷

注

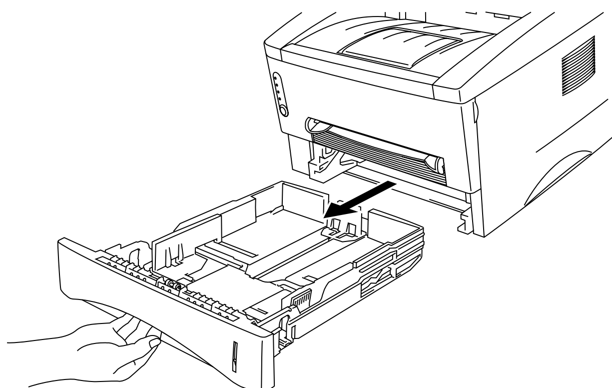
用紙カセットへは10枚以上のOHP用紙を入れないでください。

1. 用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などをプリンタドライバで設定します。

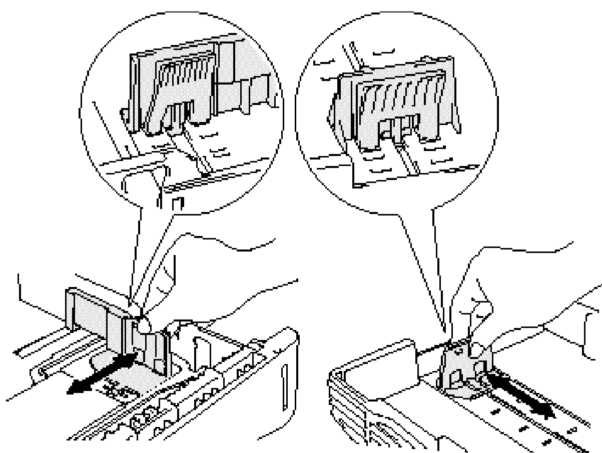
用紙媒体：OHP
給紙方法　1ページ目：トレイ1



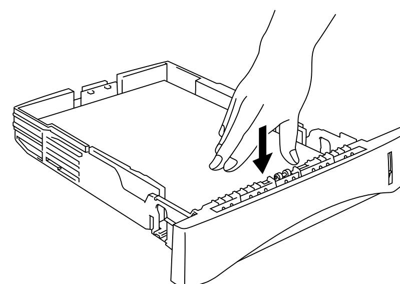
2. プリンタから用紙カセットを引き出します。



3. ペーパーガイドレバーをつまみながら、スライドさせてOHP用紙のサイズに合わせます。 ペーパーガイドが溝にはまっていることを確認してください。



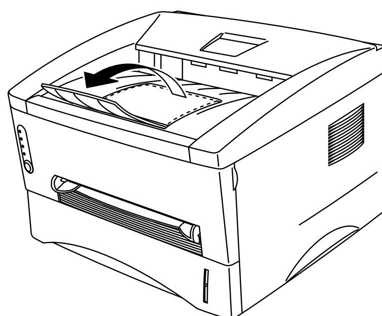
4. 本体用紙カセットに用紙をセットします。用紙がカセット内で平らであることを確認してください。



5. 用紙カセットをプリンタに入れます。

注

印刷済みのOHP用紙が本体排紙トレイから滑り落ちないように、排紙フラップを伸ばします。



注意

とくにOHP用紙に印刷する場合、印刷済みのシートはすぐに取り除きます。

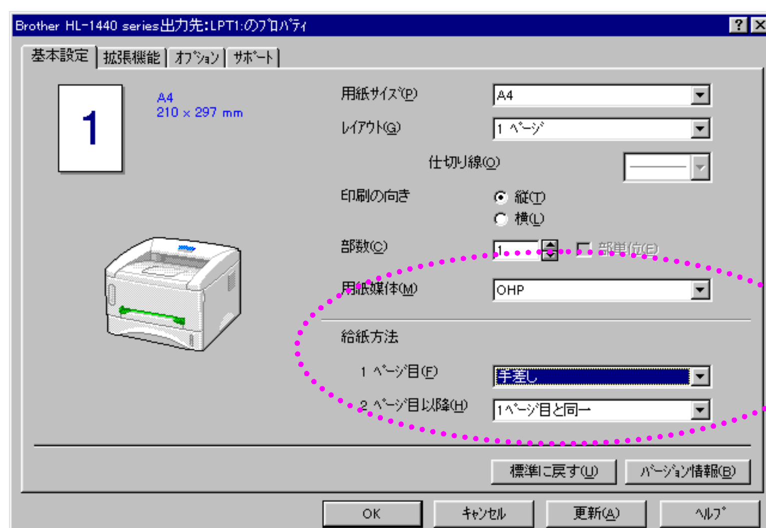
6. 印刷データをプリンタに送ります。

手差しスロットからの印刷

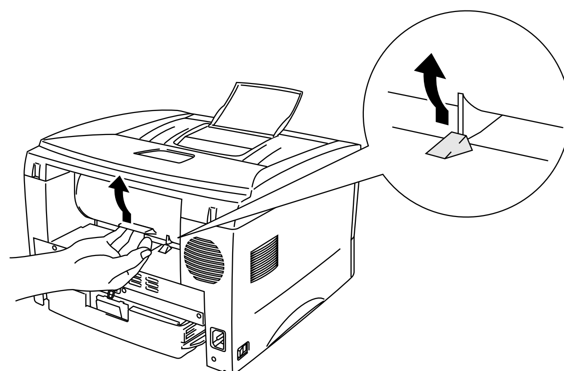
プリンタの背面カバーを上げると手差しスロットから背面までがほぼストレートになります。

1. 用紙サイズ、用紙媒体および給紙方法などをプリンタドライバで設定します。

用紙媒体：OHP
給紙方法　1ページ目：手差し

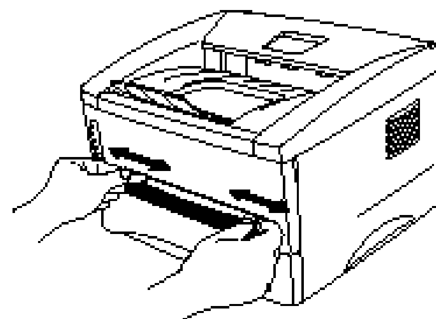


2. 背面カバーを上げます。

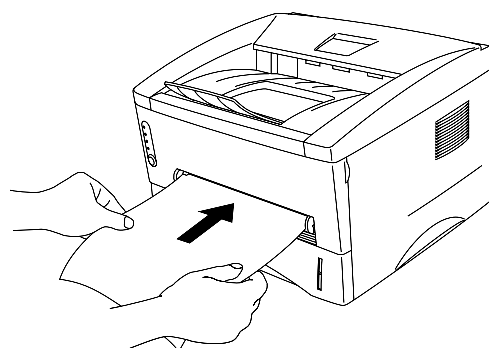


3. 印刷データをプリンタに送ります。

4. 両手で手差しスロットの用紙ガイドを使用するOHP用紙の幅に合わせます。



5. 用紙を両手で持って、手差しスロットからOHP用紙を挿入し、先端が給紙ローラーに触れるまで差し込みます。用紙をこの位置で保持し、プリンタが自動的に少し給紙したら、用紙から手を離します。

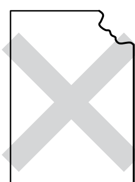
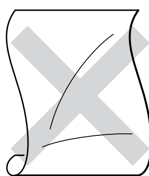
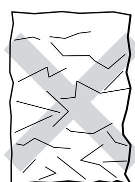


6. プリンタは印刷済みのOHP用紙を排出した後、次のOHPが挿入するまで待機しています。必要な枚数のOHP用紙が印刷されるまで、手順5を繰り返してください。

7. 印刷終了後、背面カバーを閉じてください。

♦ ラベル紙やOHP用紙などへの印刷

- 破れ、反り、しわのある用紙、規格外の用紙はご使用にならないでください。
- 台紙がついていないラベル紙は使用しないでください。プリンタに損傷を与えることがあります。
- レーザープリンタ印刷用紙のラベル紙、OHP 用紙をお使い頂くことをおすすめします。
- レーザープリンタの内部は印刷中高温になりますので、その熱に耐えうる素材のラベル紙や OHP 用紙をご使用ください。

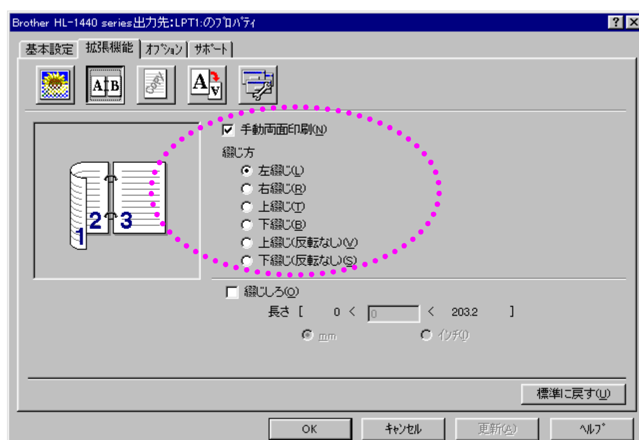





両面印刷

同梱の Windows 95/98/Me、Windows NT 4.0/2000用の プリンタドライバでは、両面印刷が可能です。設定についての詳細は、プリンタドライバのヘルプをご覧ください。

用紙カセットからの両面印刷

1. 用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法、手動両面印刷の綴じ方などをプリンタドライバで設定します。



2. プリンタはまず用紙の表面に偶数ページを印刷します。

3. 上部排紙トレイから、偶数ページが印刷された用紙を取り、印刷されている面を上に向けて用紙カセットに戻します。コンピュータの画面に用紙のセット方法などが表示されますので、画面の指示にしたがってください。



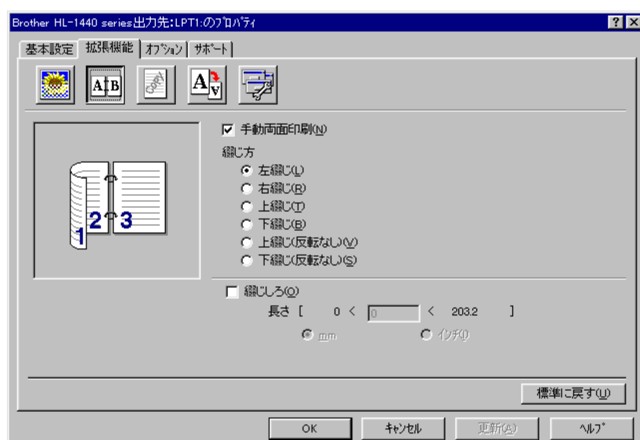
4. プリンタは自動的に、用紙の裏に奇数ページを印刷します。

手差しスロットからの両面印刷

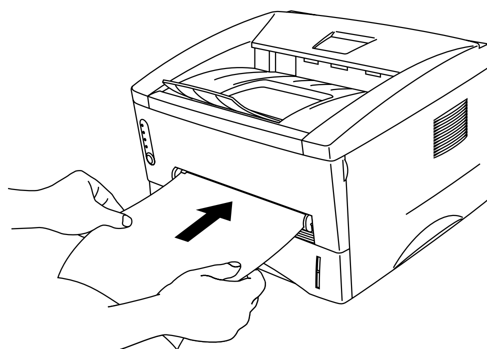
注意

- 用紙を挿入する前に、用紙をまっすぐに伸ばしてください。紙の反りは紙づまりの原因になります。
- 薄紙、厚紙の使用はできるだけ避けてください。
- 両面印刷の機能を使うと、紙づまりがおこったり、印字品質が落ちることがあります。紙づまりがおこった場合は、第6章 “ 紙づまりと解除の方法 ”をご参照ください。

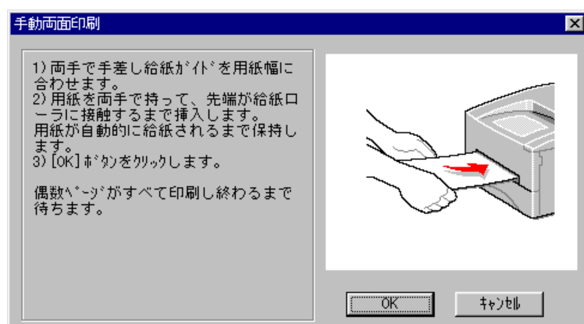
1. 用紙サイズ、用紙媒体、給紙方法、手動両面印刷の綴じ方などをプリンタドライバで設定します。



2. 用紙を両手で持って、手差しスロットから用紙を挿入してください。これから印刷しようとする面を上に向けます。コンピューターの画面の指示にしたがってすべての偶数ページの印刷が終了するまでこの動作をくり返してください。



3. 排紙トレイから、偶数ページが印刷された用紙を取り、印刷したい面を上にして順番に手差しスロットから挿入します。詳細はコンピュータの画面の指示にしたがってください。



4. 裏面に奇数ページをすべて印刷し終わるまで、ステップ3の動作を繰り返してください。

❖ 両面印刷に関する注意点

用紙が薄い場合にはしわがよる可能性があります。
用紙が反っている場合には、まっすぐにのばしてから用紙カセットにセットしてください。

ボンド紙は使用できません。
用紙カセットを使って両面印刷を行う際には、用紙カセット内に残っている紙を一度取り出してください。その後、印刷した用紙のみを入れてください。（印刷されていない用紙の上に、印刷された用紙を重ねることはしないでください。）

用紙が正常に給紙されない場合、用紙が反っている恐れがあります。 用紙を取り出してまっすぐにのばしてください。

横目の用紙はプリンタ内部で紙づまりが発生する可能性がありますので、使用しないでください。

第2章
ドライバとソフトウェア

第 2 章 ドライバとソフトウェア

プリンタドライバ

プリンタドライバとは､アプリケーションソフトの印刷指示に合わせてプリンタに印字を行うためのプリンターを制御するソフトウェアです。

以下に挙げるオペレーティングシステムのためのプリンタドライバがCD-ROMによって供給されています。 最新のプリンタドライバは、サポートページBrother Solutions Center (http://solutions.brother.co.jp)からダウンロードすることもできます。

Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0およびWindows® 2000用
　Windows プリンタドライバ

Macintosh用
　Macintosh用USBプリンタドライバ
　Macintosh用AppleTalkプリンタドライバ（HL-1470N専用）

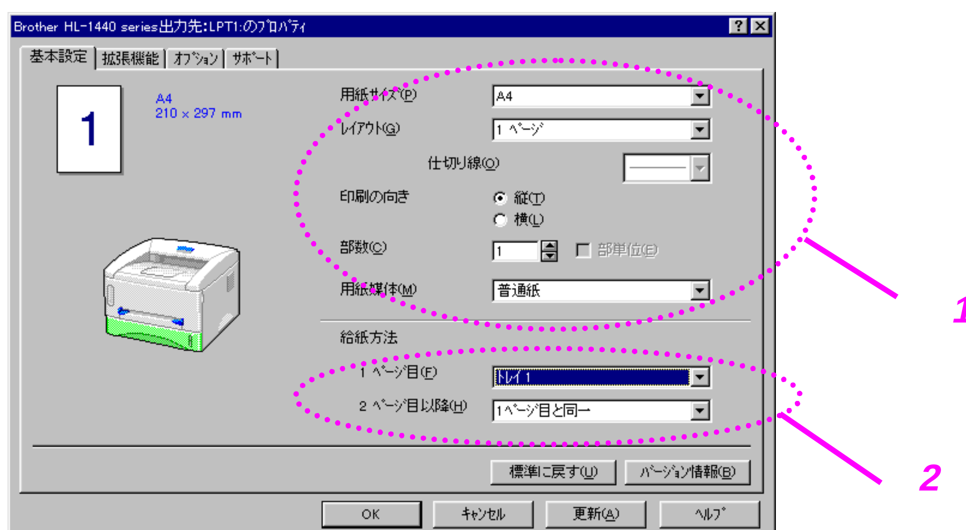
	Windows プリンタドライバ
Windows 95/98/Me	✔
Windows 2000	✔
Windows NT4.0	✔

	Macintosh USB プリンタドライバ	Macintosh AppleTalk プリンタドライバ
Macintosh（ネットワーク経由）		✔
Macintosh（USB 経由）	✔	

Windowsプリンタドライバの特長

詳細については、プリンタドライバにあるヘルプをご参照ください。
設定の変更は、ドライバ画面左側にあるイラストをクリックすることによって行うこともできます。

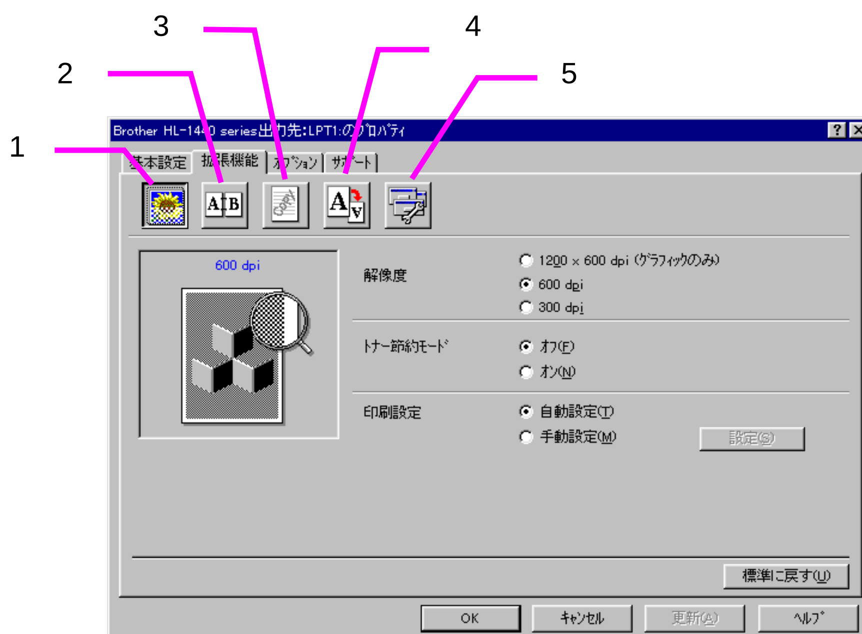
♦ 基本設定タブ



1. 用紙サイズ、レイアウト、印刷の向き、部数、用紙媒体などの設定を行います。

2. 給紙方法を設定します。

♦ 拡張機能タブ



これらのアイコンをクリックすることにより、以下のようなタブ設定を変更することができます。

1. **グラフィックス**
2. 両面印刷
3. **ウォーターマーク（すかし）**
4. **ページ設定**
5. **その他特殊機能**

グラフィックス

解像度、トナー節約モード、印刷設定などを設定します。

解像度

解像度の変更は以下のように行うことができます。

1200×600 dpi (Windows 95/98/Meはグラフィックスのみ)
600 dpi
300 dpi

トナー節約モード

トナー節約モードで印刷することにより、消費するトナーを節約してランニングコストを節減することができます。尚、このモードではプリンタの印刷濃度が低下します。

印刷設定 （Windows 95/98/Meユーザ専用）

印刷設定を自動設定にすると、明るさ、コントラスト、グラフィックスモード、TrueType設定を自由に設定できます。

両面印刷

手動両面印刷の設定ができます。6種類の綴じ方や綴じしろの設定が可能です。

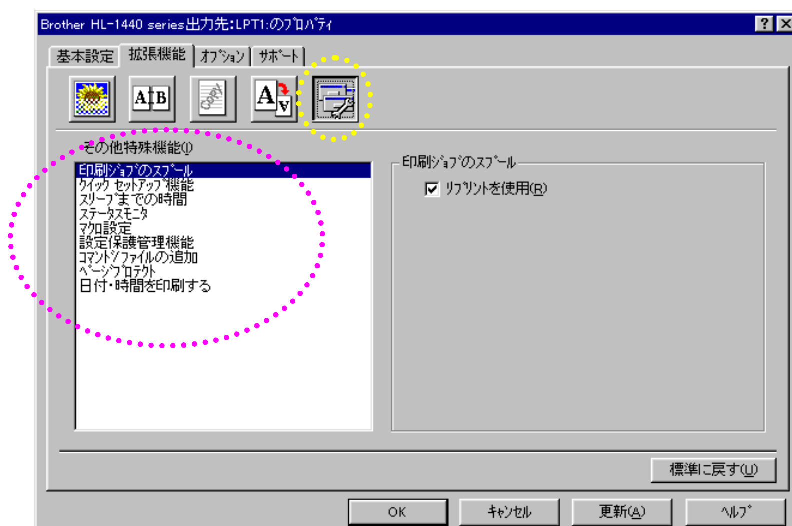
ウォーターマーク（すかし）

文書の中にウォーターマーク（すかし）のロゴや任意の語句を埋め込むことができます。
ウォーターマークとしてビットマップファイルを使用するときは、ウォーターマークのサイズを変更することが可能であり、またページの任意の箇所に設定できます。
任意の語句をウォーターマークとして使用する場合には、フォント、濃度、角度などの設定を変更することができます。

ページ設定

プリント画像のサイズを変更したり、左右反転、上下反転などの設定ができます。

その他特殊機能



このタブでは、以下のようなプリント機能モードを設定します。

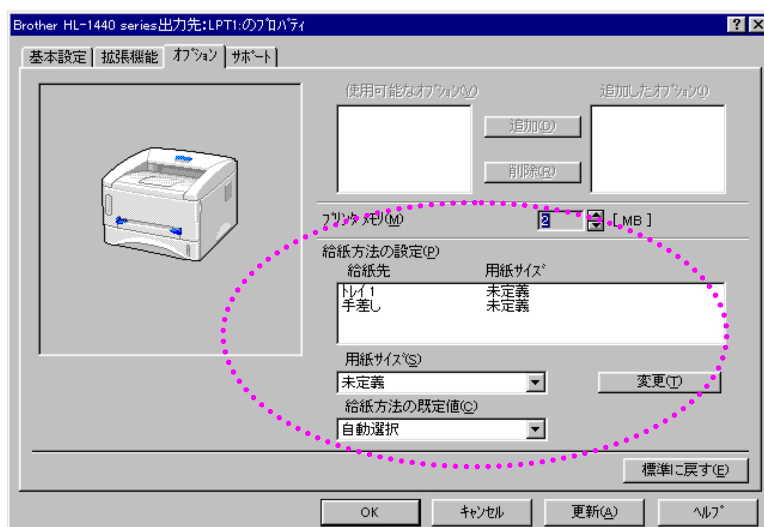
印刷ジョブのスプール
クイックプリントセットアップ機能
スリープまでの時間
ステータスモニタ
マクロ設定
設定保護管理機能（Windows 95/98/Meドライバのみ）
コマンド/ファイルの追加 （Windows 95/98/Meドライバのみ）
ページプロテクト
日付・時間を印刷する

注

プリンタ機能はモデルによって異なる場合があります。

♦ オプションタブ

オプションをインストールしたら、それらの設定をこのタブで行います。



給紙方法の設定

各用紙トレイの用紙サイズを認識します。

♦ サポートタブ

- サポートページ Brother Solutions Center（http://solutions.brother.co.jp）にアクセスすることができます。最新バージョンのプリンタドライバやソフトウェアをはじめ、Q&A、便利な機能紹介、その他プリンタをお使いいただく上で有益な情報をご用意しています。ぜひご利用ください。
- プリンタドライバのバージョンを見ることができます。
- 現在のドライバ設定をチェックすることができます。



Macintoshユーザー用

このプリンタはMacintosh® OS 8.5.1、8.6、9.0および9.1をサポートしています。詳細については、サポートページ Brother Solutions Center (http://solutions.brother.co.jp) をご覧ください。

❖ USBユーザ用

必要条件：
USBポート標準装備したPower Macintosh
32Mバイト RAM （64Mバイト以上推奨）
Mac OS 8.51、8.6、9.0、9.04および9.1

❖ ネットワークユーザ用（HL-1470Nユーザのみ）

必要条件：
Ethernetポート標準装備したPower Macintosh
32Mバイト RAM （64Mバイト以上推奨）
Mac OS 8.51、8.6、9.0、9.04および9.1

♦ Apple LaserWriter8ドライバ

Apple LaserWriter8の使用システムにインストール済みである可能性があります。http://www.apple.comから入手することもできます。

レーザーライター8バージョン8.6 および8.7は本プリンタでテスト済みです。

ソフトウェア

注

このセクションはWindowsユーザ専用です。

Automatic E-mail Printing ソフトウェア

この機能は、Eメールを自動的にダウンロードし、設定した時間にメールを受信し、自動的に印刷します。送信者およびEメールの内容によって、自動的にメールを選択して印刷するように設定することもできます。

Eメールを送信者およびタイトルごとに検索して自動印刷

Eメールを受信したらすぐに、ユーザが印刷操作を始めなくてもプリンタは直ちに自動印刷を開始します。このソフトウェアに送信者および件名を検索させて希望するメールだけを印刷するように選択することも可能です。

選択した時間に自動アクセス

設定した時間にサーバにアクセスし、Eメールを印刷することができます。

複数のメールユーザによるパソコンの共用

通常は、複数のユーザが1台のコンピュータ上でEメールソフトウェアを共用することは困難です。この機能は複数のユーザをサポートしているため、複数のユーザが１台のパソコンでEメールソフトウェアを共用することができます。

ネットワーク用ソフトウェア

注

本セクションの説明はHL-1470Nのみを対象としています。

❖ BRAdmin Professional

BRAdmin Professionalは、Windows® 95/98/Me、Windows NT® 4.0/2000の環境下でブラザーネットワークプリンタを管理するユーティリティです。このユーティリティにより、ネットワークに接続されているブラザープリンタを設定し、またそのステータスをチェックすることができます。

❖ オートマチックドライバインストーラ

このユーティリティは、プリンタ情報，Windowsローカルポートドライバ（LPR及びNetBIOS）及びその設定をまとめてインストールできる実行ファイルを作成するユーティリティです。このソフトウェアを使用する前に、プリンタに対して管理者がIPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定する必要があります。（BRAdmin Professionalを使用すると簡単に設定することができます）

つまり、このユーティリティを使用してプリンタドライバの情報及びポートドライバを含んだ実行ファイルを作成することが可能です。この実行ファイルはサーバー上に共有したり，電子メールで直接各ユーザに配布することもできます。

第3章
コントロールパネル

第 3 章 コントロールパネル

コントロールパネル上のLEDランプの表示は下記のように表現されています。

❍	ランプ消灯
☀	ランプ点滅
●	ランプ点灯

注

電源スイッチがオフになっているとき、あるいはプリンタがスリープ状態になっているときには、 ReadyのLEDを含む全LEDは消灯しています。

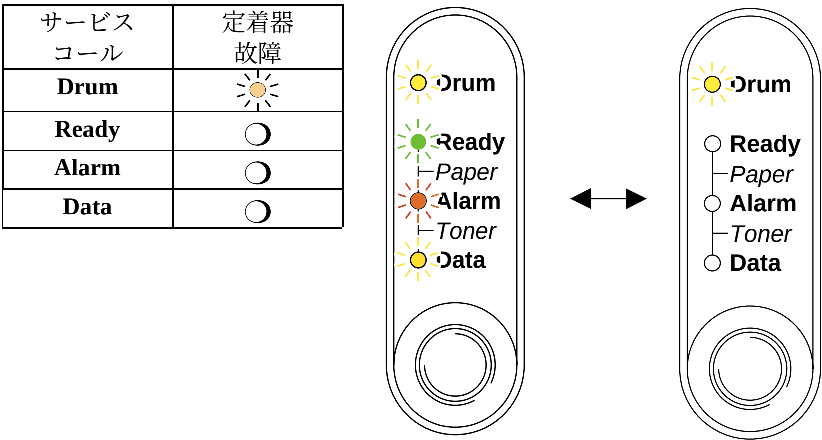
LED	プリンタの状態	
	スリープ状態 電源スイッチがオフになっているか、またはプリンタはスリープ状態になっています。コントロールパネルのボタンを押すと印刷可能状態に戻ります。	
	印刷可能状態 プリンタは印刷できる状態です。	
	1秒間隔で点滅	プリンタはウォーミングアップ中です。
	2秒間隔で点滅	**クールダウン中** プリンタはクールダウン中です。プリンタ内部の温度が下がるまで印刷を停止しています。
	紙づまり 6章の「紙づまりと解除の方法」を参照してつまった紙を取り除きます。プリンタが自動的に回復しない場合はコントロールパネルのボタンを押してください。	
	紙切れ 1章にしたがってプリンタに給紙し、コントロールパネルのボタンを押してください。	
	給紙ミス 紙を入れ直してコントロールパネルのボタンを押してください。	

LED	プリンタの状態
Drum Ready Paper Alarm Toner Data	**データ受信中** プリンタはコンピュータからデータを受信中であるか、またはプリンタメモリでデータを処理中です。
Drum Ready Paper Alarm Toner Data	**プリンタメモリに印字データあり** プリンタのメモリに印字データが残っています。コントロールパネルのボタンを押すと、メモリに残っているデータを印刷します。
Drum Ready Paper Alarm Toner Data 5秒ごとに点滅	**トナー残量少** トナーカートリッジの残量が残りわずかです。新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。
Drum Ready Paper Alarm Toner Data	**トナーなし** 5章の「トナーカートリッジの交換」にしたがってトナーカートリッジを新しいものに交換してください。
Drum Ready Paper Alarm Toner Data	**ドラムユニット寿命少** ドラムユニットの寿命が少なくなっています。新しいドラムユニットを購入し、現在のものと交換することをお勧めします。6章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。

サービスコール

解除不可能なエラーが発生した場合には、全てのランプが点灯した後に下記のコンビネーションを繰り返してサービスコールが必要な事を表示します。

一例として、下の図は「定着器の故障エラー」を表示しています。



サービスコール	定着器故障
Drum	☼
Ready	❍
Alarm	❍
Data	❍

サービスコール	定着器故障	レーザーBD故障	スキャナ故障	ROMエラー
Drum	☼	❍	☼	❍
Ready	❍	☼	☼	❍
Alarm	❍	❍	❍	☼
Data	❍	❍	❍	❍

サービスコール	D-RAMエラー	サービスA	サービスB	エンジンインターフェースエラー
Drum	☼	❍	☼	❍
Ready	❍	☼	☼	❍
Alarm	☼	☼	☼	❍
Data	❍	❍	❍	☼

サービスコール	PCIエラー	NV-RAMエラー	メインモーターエラー	CPUランタイムエラー
Drum	❍	☼	❍	☼
Ready	❍	❍	☼	☼
Alarm	☼	☼	☼	☼
Data	☼	☼	☼	☼

このようなサービスコールの表示が発生した場合は、電源スイッチを切って、数秒後にもう一度電源を入れて、印刷してみてください。

それでもエラーが解除できず、電源を入れた後も同じように表示される場合は、ブラザーコールセンターにご相談ください。その際には、前のページを参照にエラーの状況をお知らせください。

注

ご相談される前に、プリンタのフロントカバーが完全に閉じていることを確認してください。

ボタン

コントロールパネルのボタンは、以下のような用途に使用します。

印刷の中止

印刷中にボタンを押すと、プリンタはすぐに印刷を中止して用紙を排出します。

スリープ状態からの復帰

スリープ状態に入っているときにボタンを押すと、プリンタはスリープ状態から復帰して、印刷可能の状態になります。
（パソコンから印刷データが送られると、プリンタは自動的にスリープ状態から復帰します。お急ぎのときは先にボタンを押して印刷可能にしておくこともできます。）

用紙排出

Dataランプ点灯中にボタンを押すと、プリンタメモリに残っているデータを印刷します。

エラー状態からの復帰

プリンタが自動的にエラーから回復しないときは、ボタンを押してください。解除可能なエラーを解除します。

テストページの印刷

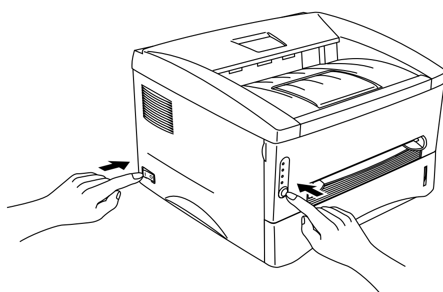
コントロールパネルボタンまたはプリンタドライバを使用することにより、プリンタでテストページを印刷することができます。

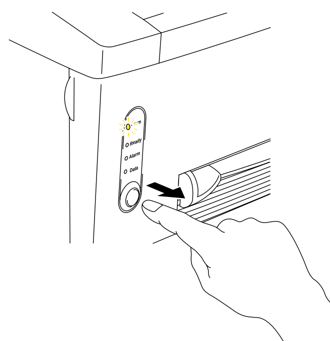
❖ コントロールパネルボタンからの印刷方法

1. プリンタの電源を切ります。

2. フロントカバーが閉じていることと、電源コードが差し込まれていることを確認してください。

3. コントロールパネルボタンを押したままの状態で電源スイッチをオンにします。すべてのLEDが点灯します。その後、Drum LEDのみが点灯したらボタンから指を離します。





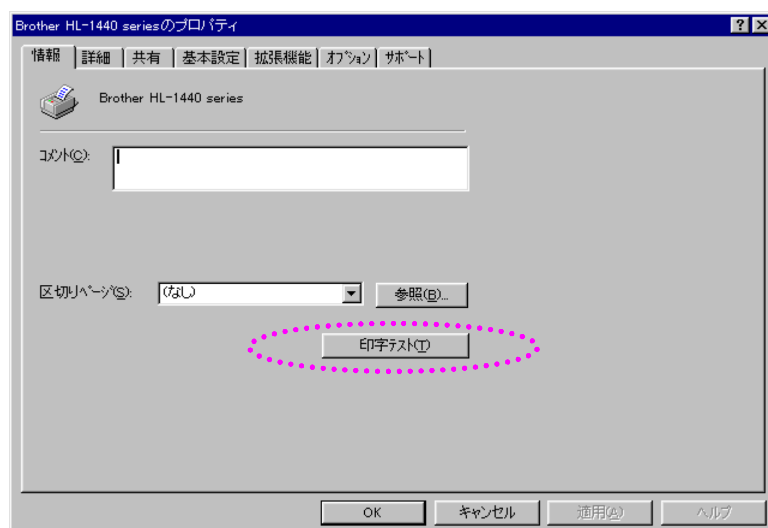
4. もう一度、コントロールパネルボタンを短く押すと、プリンタはテストページを印刷します。

❖ プリンタドライバからの印刷方法

ブラザーのWindows プリンタドライバを使用している場合は、プリンタドライバ「情報タブ」内の「印字テスト」ボタンをクリックしてください。

「情報タブ」をご覧になるためには、通常Windowsデスクトップ上の「スタート」、「設定」、「プリンタ」の中で、ご使用のプリンタアイコン（「Brother HL-1440 series」もしくは「Brother HL-1470N series」）を右クリックしてプロパティを選択します。

また、「情報」タブはオペレーティングシステムによっては「全般」タブの場合もあります。



第4章
オプション

第 4 章 オプション

このプリンタには次のようなオプションのアクセサリーがあります。以下の品目により、プリンタの能力を向上させることができます。下表のチェックマークをクリックするとそれぞれの詳しい情報を見ることができます。

モデル名	SIMM	ローワートレイユニット
HL-1440	✔	
HL-1470N	✔	✔

SIMM

メモリフルエラーが発生しないように、プリンタメモリを増設することをお勧めします。

HL-1440をお使いの方へ

プリンタは2 Mバイトのメモリを内蔵し、オプションの追加メモリ用のスロットが設けられています。メモリは、市販のSIMM（シングルインラインメモリモジュール）を取り付けることにより、最大で合計34 Mバイトまで増設できます。

HL-1470Nをお使いの方へ

プリンタは４Mバイトのメモリを内蔵し、４MバイトのSIMMが装着されています。このSIMMを４Mバイトより大きいサイズのSIMMと交換することにより、最大で合計36Mバイトまで増設できます。

♦ メモリの最低限推奨条件

HL-1440（2 Mバイトの内蔵メモリを含む）

	300 dpi	*600 dpi*	*1200 x 600 dpi*
レター／A4	標準	標準	10 Mバイト
リーガル	標準	標準	10 Mバイト

HL-1470N（8Mバイトの内蔵メモリを含む）

	300 dpi	*600 dpi*	*1200 x 600 dpi*
レター／A4	標準	標準	16Mバイト
リーガル	標準	標準	16Mバイト

このプリンタには以下の仕様に合致する SIMMを取り付けることができます。

速度	60 nsec - 80 nsec
ピンタイプ	72 ピン
高さ	25.4 mm 以下
出力	32 ビットまたは36ビット

注

- ページ保護機能を使用している場合には、メモリの増設が必要となる場合があります。

（HL-1440をご使用の場合）

- HL-1440プリンタの標準メモリは2 Mバイトです。1200 dpiで印刷するためにはSIMMを追加してプリンタメモリを増設する必要があります。

（HL-1470Nをご使用の場合）

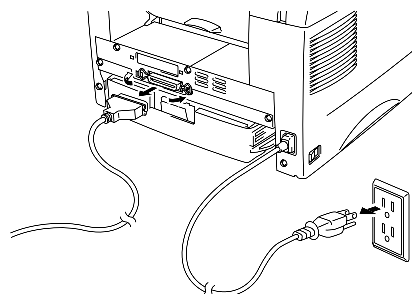
- FTP/IPP プロトコルを使用するためにはSIMMを追加してプリンタメモリを増設する必要があります。

注

プリンタにはSIMM増設用スロットはひとつです。 スロットにSIMMモジュールを取り付けた後、さらにプリンタメモリを増設したい場合には、先に取り付けたSIMMを取りはずす必要があります。

増設メモリの取り付け方

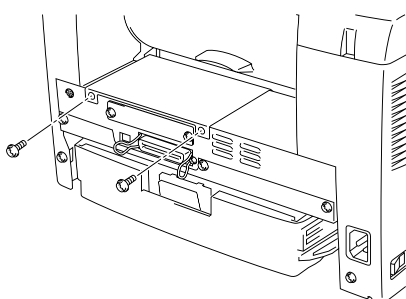
1. プリンタの電源を切り、電源コードをACコンセントから引き抜きます。インターフェースケーブルをプリンタから取り外します。

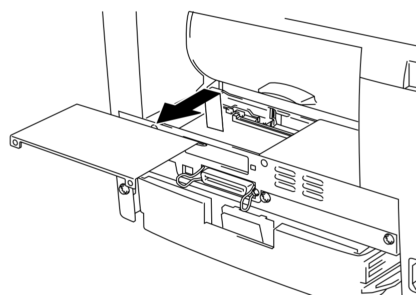


注意

SIMMを取り付ける場合、または取り外す場合は、必ず事前にプリンタの電源をきってください。

2. 背面カバーを開け、アクセスカバーのネジ2本を緩めてカバーを取り外します。



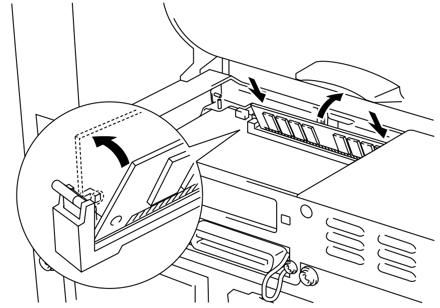


3. SIMMを開封します。

注意

SIMM基板はほんのわずかな静電気によっても損傷する可能性があります。メモリチップや基板の表面には絶対に手を触れないでください。

4. SIMMをふちの部分を持って、溝の角度に沿ってスロットに挿しこみます。その後、垂直になるようにカチッと音がするまでゆっくり押します。



5. アクセスカバーをもう一度取り付け、2本のねじで固定します。

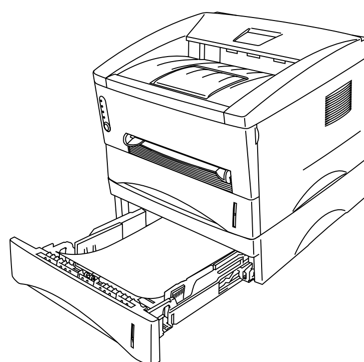
6. 背面カバーを閉じます。

ローワートレイユニット

注

このセクションの説明はHL-1470Nのユーザーだけを対象としています。

ローワートレイユニットはオプション品で、250枚の給紙が可能です。

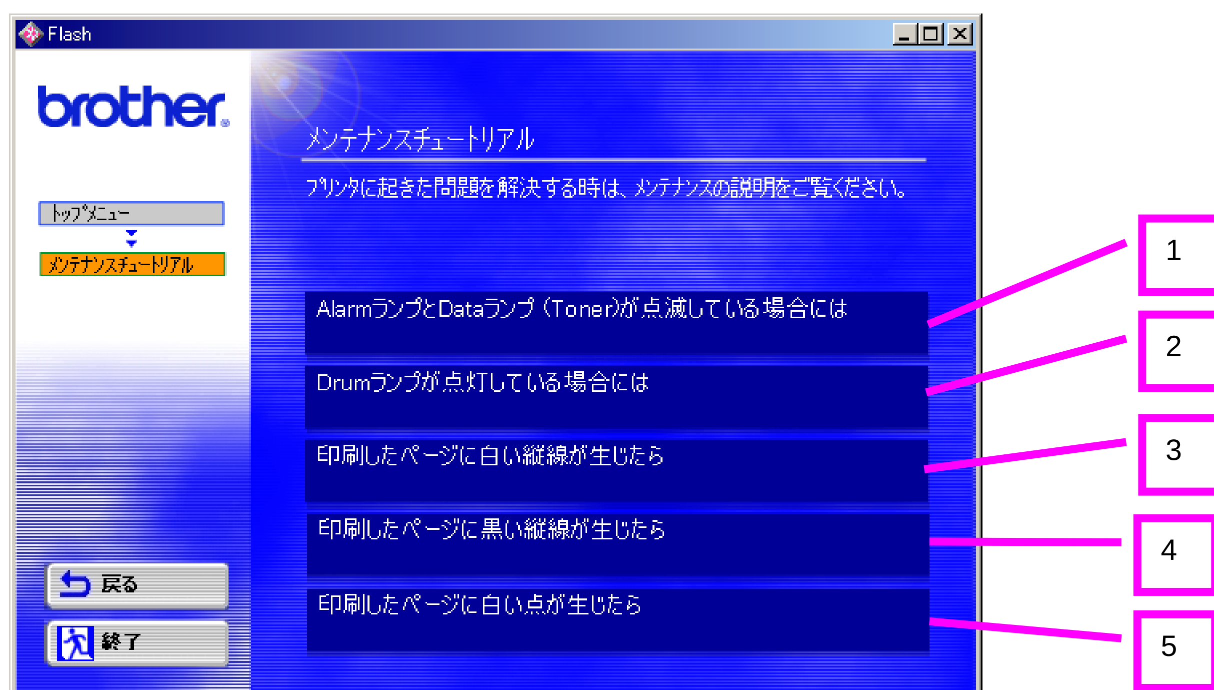


取り付けの詳細は、ローワートレイユニットに付属の説明書をご参照ください。

第5章
メンテナンス

第 5 章 メンテナンス

プリンタは定期的に消耗品を交換し、清掃する必要があります。
同梱のCD-ROM内の「メンテナンスチュートリアル」では、プリンタのメンテナンス方法について、アニメーションでわかりやすくご説明します。ぜひご利用ください。



1. トナーカートリッジの交換方法をアニメでご覧いただけます。
2. ドラムユニットの交換方法をアニメでご覧いただけます。
3. ドラム内部のクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
4. ドラムユニット内にあるワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
5. ドラムユニットのOPCドラム表面のクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。

上記の項目については6章の「印刷品質の改善」でも説明されています。

トナーカートリッジ

新しいトナーカートリッジの寿命は､印刷面積比や印刷ジョブによって異なります。典型的なビジネス文書（印刷面積比約5%）をA4／レターサイズの用紙に片面印刷した場合、3,000枚または 6000枚の印刷が可能です。

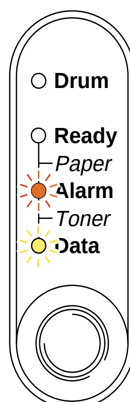
トナー消費量は、ページ上の印刷面積比と印刷濃度設定によって異なります。
印刷面積比が大きいほどトナー消費量は増大します。

新品のトナーカートリッジは交換するときまで開封しないでください。長時間、開封したままで放置すると、トナーの寿命が短くなります。

ドラムユニットを開梱してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ユニットが損傷する場合があります。

純正ブラザー製トナーカートリッジのみを使用してください。海賊版のトナーまたはトナーカートリッジを使用して印刷すると、印刷品質が低下するだけでなく、プリンタ自体の品質が低下したり、寿命が短くなる可能性があります。さらに、ドラムユニットの性能と寿命に重大な損傷をもたらす可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。

トナー残量少メッセージ

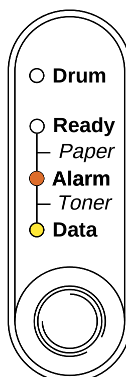


5秒ごとに点滅

LEDがこのメッセージを表示した場合には、トナーカートリッジの残りが少ないことを表しています。トナーカートリッジが完全に無くなる前に、新しいカートリッジを購入してください。

トナーなしメッセージ

次のようなメッセージが出た場合には、トナーカートリッジが空になっています。
新しいトナーカートリッジを装着するまでランプは消灯しません。



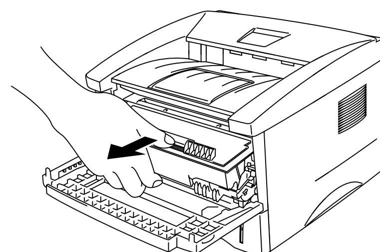
トナーカートリッジの交換

注

最適の印刷品質を保証するため、必ずブラザー純正のトナーカートリッジをご使用ください。

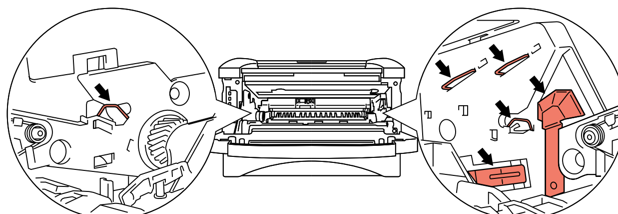
1. フロントカバーを開けます。

2. ドラムユニットを取り出します。

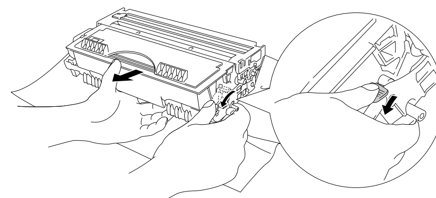


注意

トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。



3. ロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジをはずします。



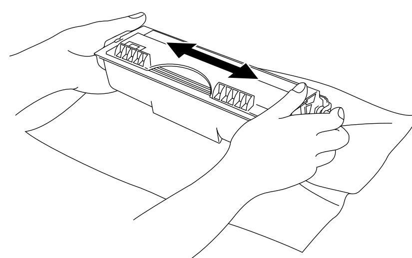
注意

トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐに濡れた布で拭き取るか、洗い流してください。

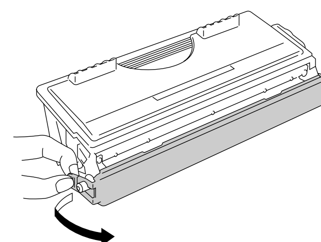
注

トナーカートリッジを廃棄する場合には、各自治体の廃棄物規則に従って行ってください。

4. 新しいトナーカートリッジを開封します。トナーが均等になるように、左右に５－６回ゆっくり振ります。

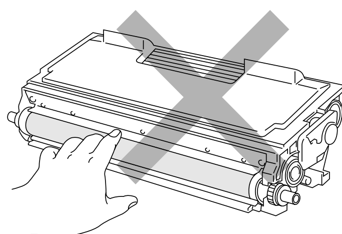


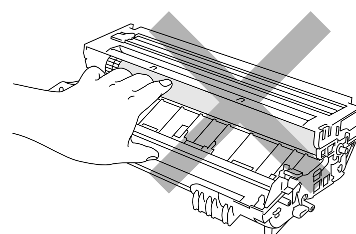
5. 保護カバーをはずします。



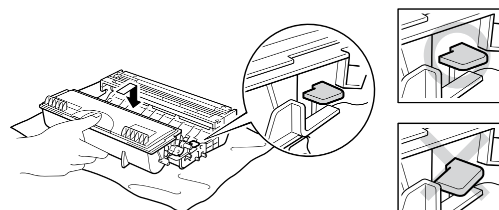
注意

印刷品質の劣化を防止するため、下図で影付の部分には触れないでください。





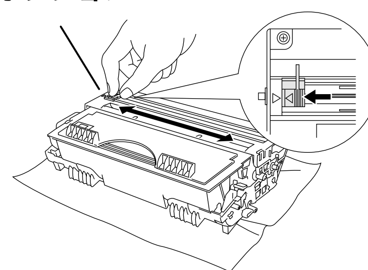
6. 新しいトナーカートリッジをドラムユニットに装着します。正しく装着されるとカチッと音が聞こえ、ロックレバーは自動的が上がります。



注意

トナーカートリッジが正しく取り付けられることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから外れる場合があります。

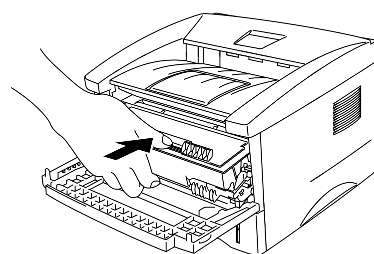
7. ドラムユニットの青色タブを2,3回往復させ、ドラム内部のワイヤーを清掃します。タブを必ずホームポジション（▲）に戻してからドラムユニットを本体に戻します。



注意

ドラムユニットをプリンタに再び取り付ける前に、必ずタブをホームポジション（▲）に戻すことを確認してください。ホームポジションに戻っていないと、印刷した用紙に縦縞が入る場合があります。

8. プリンタにドラムユニットを再び取り付け、フロントカバーを閉じます。



注

トナーカートリッジを交換した場合には、プリンタの清掃を行うことをおすすめします。本章の「クリーニング」をご参照ください。

ドラム ユニット

ドラムユニットの寿命は約20,000 枚[*1]です。

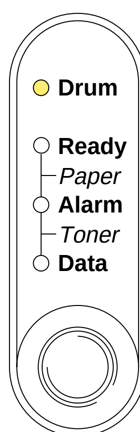
[*1] 5%の印刷面積比で印字した場合 （A4-レターサイズ用紙）。 実際の印刷枚数は平均的な印刷ジョブの種類や使用する用紙によって異なります。

注

- ドラムの寿命に影響する要因は、温度や湿度、用紙の種類、使用するトナーの種類、印刷ジョブごとの印刷枚数など、数多くあります。 実際のドラムの印刷可能枚数は、印刷条件によってはこの数字よりも大幅に少ないこともあります。このため、実際の印刷可能枚数を保証することはできません。
- 最良の性能を発揮させるために、ブラザー純正トナーだけを使用してください。プリンタは、清潔で塵埃が発生せず、適度の換気が行われている環境において使用してください。

❖ ドラム寿命少メッセージ

Drum LEDが点灯した場合、ドラムユニットの寿命が終わりに近いことを意味します。このメッセージが表示されると、印刷品質が劣化する恐れがあるので、お早めにドラムユニットを交換されることをおすすめします。



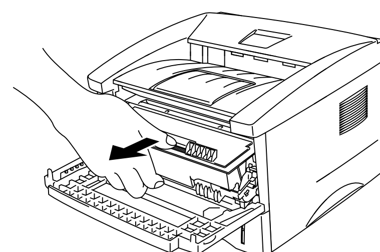
内部にトナーが残っている場合があるので、ドラムユニットの取りはずしには細心の注意を払ってください。
ドラムユニットを交換する際にはプリンタの清掃を行うことをおすすめします。本章の「クリーニング」をご参照ください。

ドラムユニットの交換

ドラムユニットの交換方法は付属のCD-ROMのメンテナンスチュートリアルでもアニメーションでご覧いただけます。

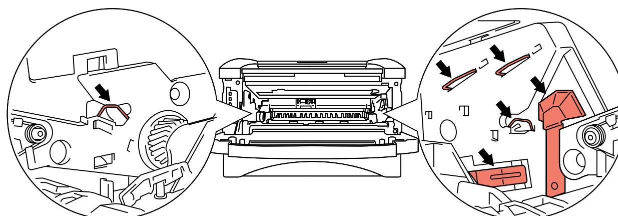
1. フロントカバーを開けます。

2. ドラムユニットを取り出します。

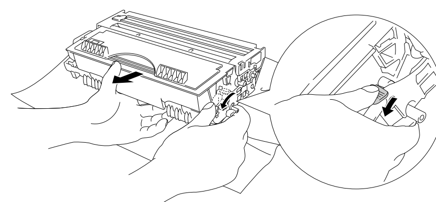


注意

トナーがこぼれたときのために、ドラムユニットを使い捨ての紙か布の上に置くことをおすすめします。
静電気によってプリンタが損傷することを防ぐため、下図に示す電極には手を触れないでください。



3. ロックレバーを押し下げながら、ドラムユニットからトナーカートリッジをはずします。



注意

トナーカートリッジの取り扱いには細心の注意を払ってください。万一、トナーが手や衣服に付着した場合には、すぐに濡れた布で拭き取るか、洗い流してください。

注

使用済みのトナーカートリッジを廃棄する場合には、必ずその地域の自治体の規則に従って行ってください。ドラムユニットは、トナーが飛散しないように、必ず確実に密封してください。

4. 新しいドラムユニットを開梱します。

注意

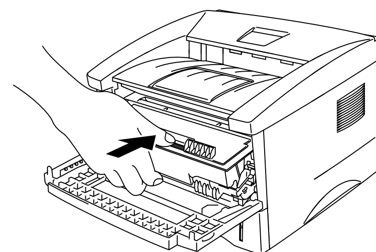
ドラムユニットプリンタに取り付ける直前まで開梱しないでください。開梱してから強い直射日光または室内光線にさらすと、ドラムユニットが損傷する場合があります。

5. トナーカートリッジをドラムユニットに装着します。正しく装着されるとカチッと音が聞こえ、ロックレバーは自動的が上がります。

注意

トナーカートリッジが正しく取り付けられることを確認します。取り付けが正しくないと、トナーカートリッジはドラムユニットから離れる場合があります。

6. プリンタにドラムユニットを再び取り付けます。フロントカバーが開き、プリンタの電源が入った状態でDrumランプとAlarmランプが点灯していることを確認します。



7. 新しいドラムユニットに同梱されている説明書を参照しながら、ドラムカウンタをリセットします。

注意

トナーカートリッジだけを交換した場合には、ドラムカウンタをリセットしないでください。

8. フロントカバーを閉じます。

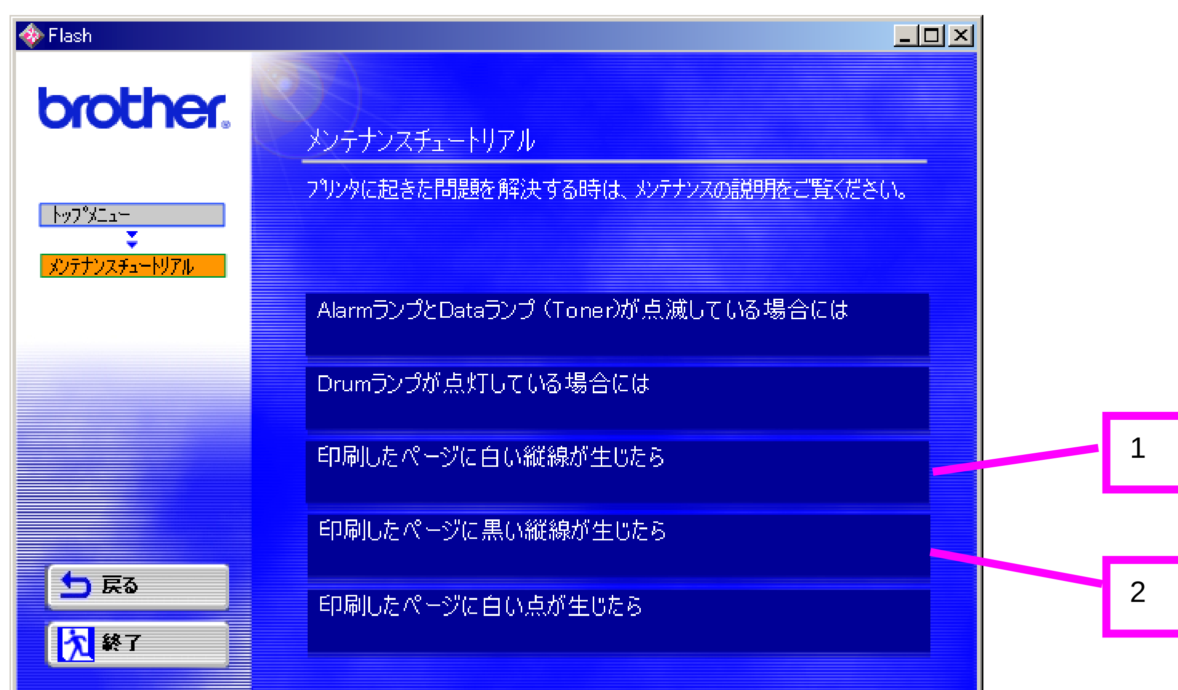
9. Drumランプが消えていることを確認します。

注意

ドラムユニットを交換する際にはプリンタの清掃を行うことをおすすめします。本章の「クリーニング」をご参照ください。

クリーニング

プリンタの外部と内部を定期的に清掃してください。印刷した用紙がトナーで汚れている場合には、プリンタ内部とドラムユニットを清掃します。
同梱のCD-ROM内の「メンテナンスチュートリアル」では、プリンタのメンテナンス方法について、アニメーションでわかりやすくご説明します。ぜひご利用ください。



1. ドラム内部のクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。
2. ドラムユニット内にあるワイヤーのクリーニング方法をアニメでご覧いただけます。

定期保守部品

印刷品質を保持するためには、保守部品を定期的に交換する必要があります。下表に示す枚数を印刷した後、下表の部品を交換することが必要です。

項目	*概算寿命*
定着器	50,000枚*
分離パッドホルダー	50,000枚*
ピックアッププローラー	50,000枚*

実際の印刷枚数は印刷ジョブの種類や使用する用紙によって異なります。上表の数字は一般的なビジネス文書（印刷面積比約5%）をA4／レターサイズの用紙に片面印刷した場合で算出されています。

保守部品交換の詳細についてはブラザーコールセンターにお問い合わせください。

第6章
トラブルシューティング

第 6 章トラブルシューティング

問題の解析

初めに下記の項目をご確認ください:

- 電源コードが正しく差し込まれているか、プリンタに電源が入っているか。
- 全ての保護部品が取り除かれているか。
- トナーカートリッジとドラムユニットが正しく装着されているか。
- フロントカバーがしっかり閉じられているか。
- 紙が用紙カセットに正しく挿入されているか。
- プリンタとコンピュータがインターフェースケーブルで正しく接続されているか。
- 正しいプリンタドライバーがインストールされ、選択されているか。
- コンピュータが正しいプリンタポートに接続されているか。

プリンタが印刷をしない:

上記のチェック項目で問題が解決されない場合は下記の項目の中から関連する事項を見つけて指示にしたがってください。

ランプが点滅している

3章の「コントロールパネル」をご参照ください。

ステータスモニターにエラーメッセージが現れる

この章の「ステータスモニターのエラーメッセージ」をご参照ください。

エラーメッセージが印刷される

この章の「印刷によるエラーメッセージ」をご参照ください。

紙の取り扱い

この章の「用紙について」または「紙づまりと解除の方法」をご参照ください。

その他

この章の「その他」をご参照ください。

ページを印刷するが、問題がある：

印字品質

この章の「印字品質の改善」をご参照ください。

印刷が正しくない

この章の「正しく印字するには」をご参照ください。

ステータスモニターのエラーメッセージ

ステータスモニターはプリンタの問題点を下記の表で示された様に表示します。表示されたエラーメッセージに対して正しい処置を行ってください。

エラー表示	解決方法
フロントカバーオープン	• プリンタのフロントカバーを閉じてください。
メモリフル	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • エラーが解除されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。
用紙切れまたは給紙ミス	• 用紙カセットが用紙切れか、十分な紙が挿入されていない場合があります。用紙切れの場合は用紙カセットに新しい紙を挿入してください。 • 用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙がそっている場合は、印字する前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、揃えなおして用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。1章の「使用できる紙について」をご参照ください。
紙づまり	• この章の「紙づまりと解除の方法」をご参照ください。
プリントオーバーラン	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • それでもエラーが解除されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。付属のWindowsドライバかRPCプログラムでページ保護をONにしてください。 • 付属のWindowsドライバの以下の設定を変更してもう一度試してください。最良の組み合わせ設定はデータによって変わります。 Graphics Mode True Type™モード Printer True Type™フォント使用

エラー表示	解決方法
解像度調整 （プリンタは解像度が低下した状態で印刷しています。）	• プリンタが自動的に解像度を下げないように、印刷前に作成したデータを簡素にしてください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。
トナー切れ	• 5章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。
トナー少量	• 新しいトナーカートリッジを購入し、トナー切れが表示されたときのために準備してください。
定着器エラー	• プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。 • 10分間電源を入れた状態で放置し、それでもエラーメッセージが出る場合は代理店にご相談ください。
レーザーダイオードエラー	• プリンタの電源を切って、数秒後にもう一度電源を入れてください。再びエラーメッセージが出る場合は代理店にご相談ください。
スキャナーエラー	
D-RAMエラー	
NV-RAMエラー	
メインモーターエラー	
エンジンインタフェースエラー	

印刷によるエラーメッセージ

プリンタに問題がおこった場合、表に示されたようなエラーメッセージを印刷して知らせます。プリンタが知らせるエラーメッセージに対して適切な処置をおこなってください。

注

メッセージは英文表記です。

エラー表示	解決方法
メモリフル （MEMORY FULL）	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタメモリ内に残っているデータを印刷してください。 • エラーが解除されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。
プリントオーバーラン (PRINT OVERRUN)	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • それでもエラーが解除されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。付属のWindowsドライバかRPCプログラムでページ保護をONにしてください。 • 付属のWindowsドライバの以下の設定を変更してもう一度試してみてください。最良の組み合わせ設定はデータによって変わります。 Graphics Mode True Type™モード Printer True Type™フォント使用
自動解像度調整 (RESOLUTION ADAPTED) （プリンタは解像度が低下した状態で印刷しています。）	• プリンタが自動的に解像度を下げないように、印刷前に作成したデータを簡素にしてください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。

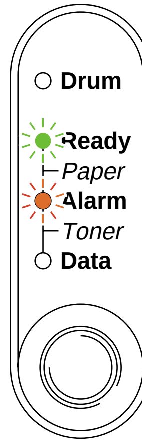
用紙について

最初に、ご使用の用紙が用紙規格に合致しているか確認してください。用紙規格については、1章の「使用できる紙について」をご参照ください。

問題	解決方法
プリンタが給紙をしない	• 用紙カセットに用紙が入っている場合は、まっすぐであるか確認してください。用紙がそっているときは、印刷をする前にまっすぐに伸ばしてください。また、いったん用紙を取り出してから、そろえ直して用紙カセットに戻すと正常に給紙するようになる場合もあります。 • 用紙カセットの中の用紙枚数を減らしてから、もう一度試してください。 • 手差し給紙モードがプリンタドライバで選択されていないか確認してください。
プリンタが手差しスロットから紙を給紙しない	• 確実に一枚ずつ紙を挿入してください。 • プリンタドライバで手差しモードが選択されているか確認してください。
プリンタが封筒を給紙しない	• 手差しスロットからのみ封筒を給紙することができます。使用しているアプリケーションが印字する封筒の大きさに設定されていなくてはなりません。これは通常、使用しているアプリケーションのページ設定、または文章設定メニューで設定することができます。使用しているアプリケーションの取扱説明書を参照してください。
紙づまりが起きる	• 次項の「紙づまりと解除の方法」を参照しながら、つまった紙を取り除きます。
プリンタが排紙トレイに排紙をしない	• 背面カバーを閉じてください。
ローワートレイが正しく給紙しない。 (HL-1470Nオプションのローワートレイユニット使用時のみ)	• ローワートレイ用ケーブルがプリンタに正しく接続されているか確認してください。 • プリンタドライバで適切なトレイ設定が選択されているか確認してください。

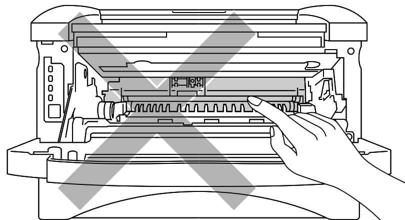
紙づまりと解除の方法

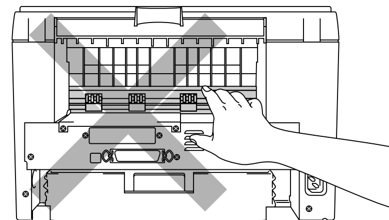
紙づまりがおこった場合、プリンタは下記のような点滅で表示します。



⚠ 警告

プリンタの使用直後は、プリンタ内部がたいへん高温になっています。フロントカバーまたは背面カバーを開ける際には、下図のグレーの部分には絶対に手を触れないでください。





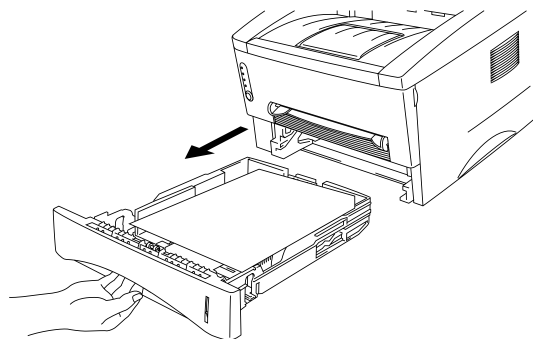
次の手順にしたがってつまった紙を完全に取り除き、用紙カセットを挿入してフロントカバーを閉じると、プリンタは自動的に印刷を続行します。

プリンタが自動的に印刷を続行しない場合は、コントロールパネルのボタンを押します。それでもプリンタが印刷を続行しない場合は、つまった紙がすべて取り除かれているか確認し、もう一度印刷してください。

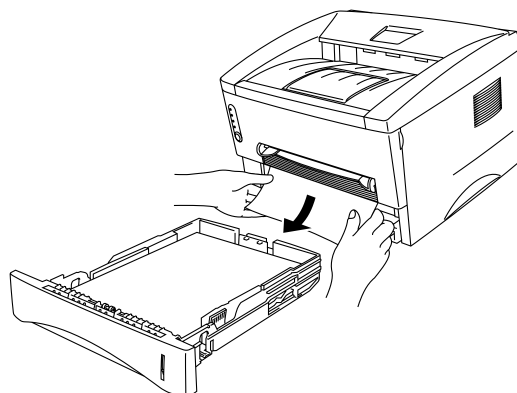
⇒ 注意

- **ローワートレイユニットを使用しているときに紙づまりが発生した場合には、本体の用紙カセットが正しく取り付けられているか確認してください。**
- **新しく用紙を足す際には、全ての用紙を用紙カセットから取り除き、まっすぐに伸ばしてください。これはプリンタが一度に複数枚の用紙を給紙する事を防ぎ、紙づまりを防ぎます。**

1. プリンタから用紙カセットを完全に引き出します。

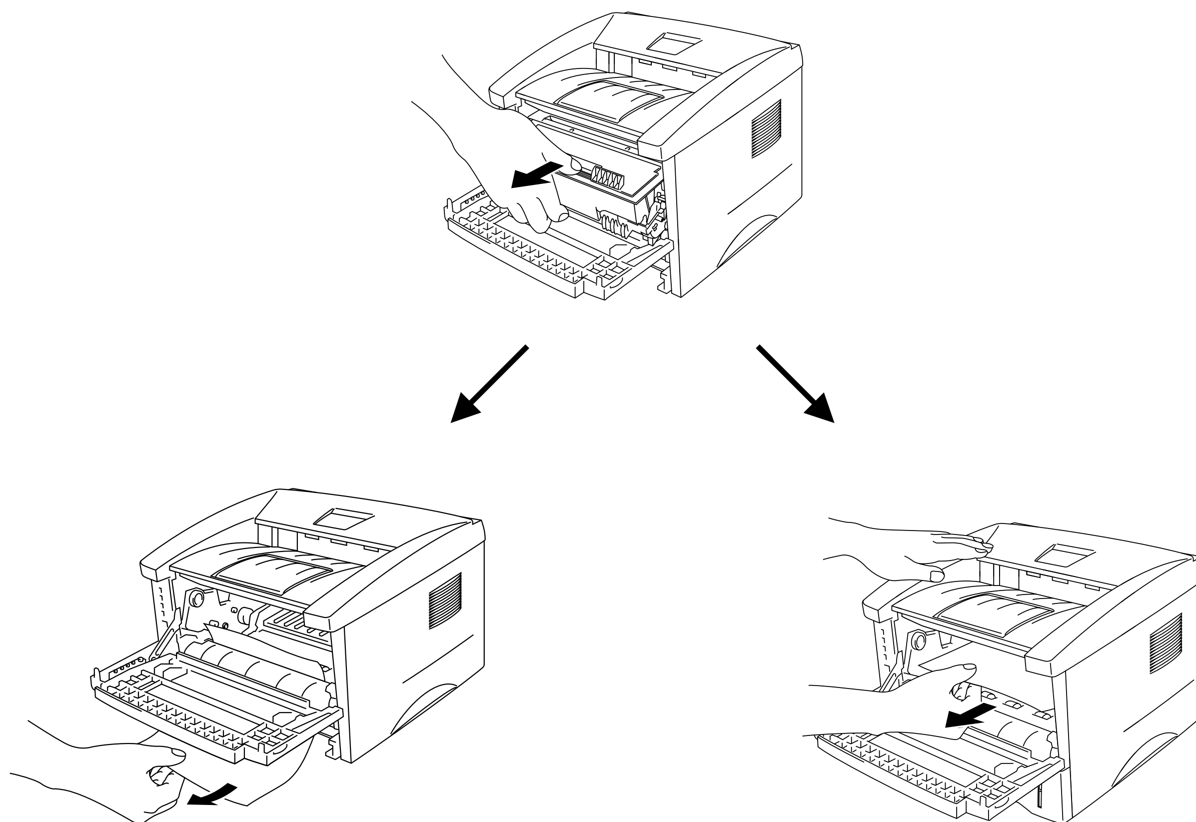


2. つまった紙を取り出します。



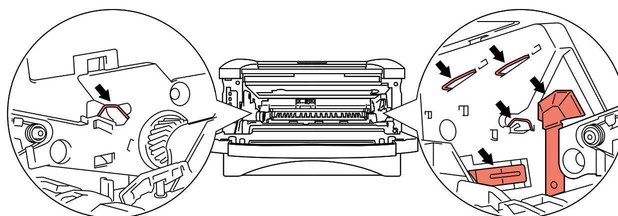
3. フロントカバーを開けます。

4. ドラムユニットを取り出し、つまった紙を取り出します。ドラムユニットが簡単に取り出せない場合は、無理に力を入れて取り出さず、つまった紙の端を用紙カセット側から引き出してください。

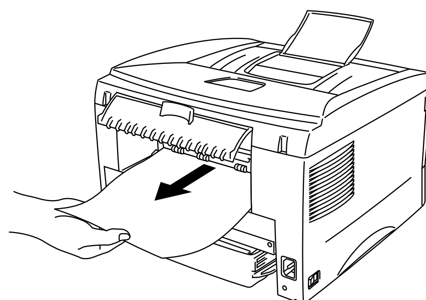


注意

静電気によるプリンタへの悪影響を避けるため、下図に示した電極には触れないようにしてください。



5. 背面カバーを開けてつまった紙を定着器から引き出します。



注意

紙をプリンタの後方から引き出すときには、トナーが定着器に付着し、次ページ以降が汚れる事があります。トナーによる汚れがなくなるまで数枚テストページを印刷してください。

6. 背面カバーを閉じます。

7. ドラムユニットをプリンタに装着します。

8. 用紙カセットをプリンタに戻します。

9. フロントカバーを閉じます。

その他

問題	解決方法
プリンタで印字ができない。 "There was an error writing to LPT1: (or BRUSB) for the printer." のエラーメッセージがコンピュータの画面上に表示される	• プリンタケーブルが破損していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、正しいプリンタが選択されているか確認してください。

USB Macintosh用

問題	解決方法
HL-1440（またはHL-1470N）がセレクタに現れない	• プリンタに電源が入っているか確認してください。 • USBインターフェースが正しく接続されているか確認してください。 • プリンタドライバが正しくインストールされているか確認してください。
使用しているアプリケーションから印刷できない	供給されているMacintoshのプリンタドライバがシステムフォルダに正しくインストールされているか、セレクタで選択されているかを確認してください。

印字品質の改善

問題例	解決方法
かすれ	• プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、この問題が起きることがあります。 1章の「プリンタ設置」をご参照ください。 • 全てのページが薄い場合には、トナー節約モードになっていることがあります。ドライバのプリンタプロパティタブでトナー節約モードを標準にしてください。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。 5章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。
グレーの背景	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。 1章の「使用できる紙について」をご参照ください。 • プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所や高温の場所で使用すると、グレーの背景が入ることが多くなる場合があります。 • トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。 5章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。
残像	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。表面が粗い紙や、湿気を吸収した紙、厚紙を使うとこの問題が起きる事があります。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。1章の「使用できる紙について」をご参照ください。 • ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。

問題例	解決方法
トナー汚れ	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。表面が粗い紙を使うとこの問題が起きる事があります。 1章の「使用できる紙について」をご参照ください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。
白い中抜け	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。 1章の「使用できる紙について」をご参照ください。 • プリンタドライバで厚紙（ハガキ）もしくは超厚紙モードを選択するか、現在ご使用のものより薄い紙をお使いください。 • プリンタの設置環境を確認してください。湿気が多い場所で使用すると、こうした問題が起きることがあります。
真っ黒なページ	ドラムユニット内のワイヤーを清掃してください。 5章の「クリーニング」をご参照ください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新品のドラムユニットに交換して試してみてください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。

問題例	解決方法
94 mm (3.7 in.) 94 mm (3.7 in.) **白い点** 黒い文章や画像が印刷されたページに94ミリ周期で白い点がある 94 mm (3.7 in.) 94 mm (3.7 in.) **黒い点** 印刷されたページに94ミリ周期で黒い点がある	数ページ印刷してみてもこの問題が解決されない場合は、ラベルののりが感光ドラムに付着していることがあります。 下記の手順にしたがってドラムを清掃してください。 1. **印字サンプルをドラムユニットの前に置き、点が出る位置を確認します。** 2. **ドラムユニットギアを手で回し、感光ドラム表面にのりがついている場所を手前にもってきます。** 3. **ドラム上の汚れの場所と、プリントサンプルの点の位置が一致していることが確認できたら、感光ドラムの表面を汚れや紙粉がなくなるまで綿棒で拭き取ります。**

問題例	解決方法
94 mm (3.7 in.) 94 mm (3.7 in.) **白い点** 黒い文章や画像が印刷されたページに94ミリ周期で白い点がある 94 mm (3.7 in.) 94 mm (3.7 in.) **黒い点** 印刷されたページに94ミリ周期で黒い点がある	**注意** 感光ドラムの表面を清掃する際は、ボールペンのような先の尖ったものは使用しないでください。 ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。

問題例	解決方法
黒い汚れが平行に繰り返し発生する トナーの飛び散りや汚れが印刷されたページ上に出る	• ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。 • ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。 1章の「使用できる紙について」をご参照ください。 • レーザープリンタにラベル紙をご使用の場合には、ラベルののりが感光ドラムに付着する事があります。ドラムユニットを清掃してください。この章の「印字品質の改善」をご参照ください。 • ドラム表面を傷つける恐れがありますので、クリップやホッチキスがついた紙はご使用にならないでください。 • 開封されたドラムユニットは過度の直射日光や照明で品質が損なわれる事があります。
白い平行な線	• ご使用の紙が用紙規格に合致しているか確認してください。表面が粗い紙や厚紙を使うとこの問題が起きることがあります。 • プリンタドライバで適切な用紙媒体を選択しているか、確認してください。 • この問題はプリンタが自動的に解決することがあります。特に長期間ご使用にならなかった後は、複数ページ印字してこの問題が解消されるか試してみてください。 • ドラムユニットが破損していることがあります。新しいドラムユニットに交換して試してみてください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。
平行な線	• プリンタ内部とドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。 5章の「クリーニング」をご参照ください。 • ドラムが破損していることがあります。新しいドラムユニットを挿入してください。 5章の 「ドラムユニットの交換」をご参照ください。
黒い垂直な線 印刷されたページにトナーの汚れや垂直な線がある	• ドラムユニット内のコロナワイヤーを清掃してください。 5章の「クリーニング」をご参照ください。 • コロナワイヤーのタブがホームポジションにあるか確認してください。 • ドラムが破損していることがあります。ドラムユニットを新品に交換して試してみてください。 5章の「ドラムユニットの交換」をご参照ください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。 5章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。 • スキャナーウィンドウを覆うように紙片がプリンタ内部に残っていないか確認してください。 • 定着器が汚れていることがあります。ブラザーコールセンターにご相談ください。

問題例	解決方法
白い垂直な線	• スキャナウィンドウを柔らかい布でふいてください。 5章の「クリーニング」をご参照ください。 • トナーカートリッジが破損していることがあります。トナーカートリッジを新品に交換して試してみてください。 5章の「トナーカートリッジの交換」をご参照ください。
ページのゆがみ	• 紙やその他のメディアが用紙カセットに正しく挿入されているか確認してください。また、用紙ガイドが紙の大きさに合っているか確認してください。 • 用紙ガイドを正確にセットしてください。ペーパーガイドの爪が溝にしっかりはまっているか確認してください。 1章の「用紙カセットからの印刷」をご参照ください。 • 手差しスロットをご使用の場合は1章の「手差しスロットからの印刷」をご参照ください。 • 用紙カセット内の紙の枚数が多すぎる場合があります。 1章の「用紙カセットからの印刷」をご参照ください。 • 紙の種類と品質を確認してください。 1章の「使用できる紙について」をご参照ください。
そりまたはうねり	• 紙の種類と品質を確認してください。高温または多湿によって紙のそりが起きることがあります。 1章の「使用できる紙について」をご参照ください。 • プリンタを頻繁に使用しない場合には、用紙が用紙カセットの中で過度に吸湿していることがあります。トレイの中の紙をひっくり返すか、向きを180度回転させてみてください。 • 手差し給紙で印字してみてください。 1章の「手差しスロットからの印刷」をご参照ください。
しわまたは折り目	• 紙が正しく給紙されているか確認してください。 1章の「用紙カセットからの印刷」をご参照ください。 • 紙の種類と品質を確認してください。 1章の「使用できる紙について」をご参照ください。 • 手差し給紙で印字してみてください。 1章の「手差しスロットからの印刷」をご参照ください。 • トレイの中の紙をひっくり返すか、向きを180度回転させてみてください。

正しく印字するには

問題	解決方法
印字はするが、コンピュータ画面上で表示されているものとは違っている	• プリンタケーブルが長すぎないか確認してください。長さが2メートル以内のものをおすすめします。 • プリンタケーブルが破損または故障していないか確認してください。 • インターフェース切り替え器をご使用の場合は、取り外して直接プリンタと接続して試してみてください。 • 正しいプリンタドライバが「通常使うプリンタに設定」として設定されているか確認してください。 • 補助記憶装置またはスキャナーが同じポートに接続されていないか確認してください。 • その他の装置すべてを取り除き、プリンタのみをポートにつないでください。 • プリンタドライバ内のデバイスオプションで表示されたプリンタステイタスをOFFにしてください。
全ての文章を印刷することができない。"プリントオーバーラン" のエラーメッセージが表示される	• コントロールパネルのボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • それでも問題が解決されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。 4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。 付属のWindowsドライバかRPCプログラムでページ保護をONにしてください。 • 付属のWindowsドライバの以下の設定を変更してもう一度試してみてください。最良の組み合わせ設定はデータによって変わります。 Graphics Mode True Type™モード Printer True Type™フォント使用
全ての文章を印刷することができない。"メモリフル" のエラーメッセージが表示される	• コントロールパネルボタンを押してプリンタ内に残っているデータを印刷してください。 • それでも問題が解決されない場合は、文章の複雑さを減らすか、解像度を下げてもう一度印刷してください。 • 市販のSIMMメモリでプリンタのメモリを増やしてください。 4章の「増設メモリの取り付け方」をご参照ください。
コンピュータ画面上ではヘッダーやフッターが出てくるが、印刷ページには出てこない	ほとんどのレーザープリンタには、印字可能範囲が決められています。通常、印字可能な62行以外では最初の2行と最後の2行は印字されません。印字可能範囲内で、ヘッダーまたはフッターの印刷位置を調整してください。

付録

付録

プリンタ仕様

モデル名		HL-1440	HL-1470N
プリント方式		電子写真方式	
印字スピード		最速14 ppm (A4サイズで印刷時) ※1	
ウォームアップタイム		30秒以下 ※1	
ファーストプリントタイム（レディー時）※2		15 秒以下 ※1	
解像度		True 1200x600 dpi ※3 600 x 600 dpi 300 x 300 dpi	
CPU		富士通 MB86833-66MHz	富士通 MB86832-66MHz
対応OS		Windows 95/98/Me、NT 4.0、2000、Mac OS 対応	
メモリ	標準	2M バイト	8M バイト
	オプション	最大 34 M バイト	最大 36M バイト※4
インタフェース	標準	IEEE1284 準拠 (双方向)、USB	IEEE1284 準拠(双方向)、 USB, 10/100 BaseTX
対応プロトコル		–––	TCP/IP, IPX/SPX, AppleTalk, DLC/LCC
管理ツール		–––	BRAdmin Professional ※5 ウェブベースの管理 ※6
添付フォント (付属CD-ROMに添付)		明朝 2 書体、ゴシック 4 書体、他 3 書体	

モデル名		HL-1440	HL-1470N
プリンタドライバ		Windows 95 / 98 Me および Windows NT 4.0/2000 用ならびに Mac OS 8.51, 8.6, 9.0, 9.1 用 PCL ドライバ	
ユーティリティドライバ		Automatic E-mail Printing ソフトウェア ※7 インタラクティブヘルプ ステータスモニタ ※8	
		―――	オートマチックドライバインストーラ ※8
給紙枚数	用紙カセット	250枚	
	手差し	1枚	
	ローワートレイユニット（オプション）	―――	250枚
最大給紙枚数		250枚	500枚
排紙	下向き	普通紙：150枚	
	上向き	1枚（すべての用紙）	
用紙の種類	手差し	普通紙、再生紙、ボンド紙、OHP用紙 ※9、ラベル紙、システム手帳用紙、官製ハガキ、封筒	
	用紙カセット、ローワートレイユニット（オプション）	普通紙、OHP用紙、再生紙、ボンド紙※10、官製ハガキ ※11	
用紙坪量	手差し	60-157 g/㎡	
	用紙カセット	60-105 g/㎡	
対応用紙	手差し	A4、レター、B5、A5、A6、エグゼクティブ、システム手帳用紙、封筒 (洋型4号、定型最大 120 x 235 mm)、官製ハガキ	
	用紙カセット、ローワートレイユニット（オプション）	A4、レター、B5、 A5、官製ハガキ ※11	

モデル名		HL-1440	HL-1470N
トナーカートリッジ	TN6300	約3,000枚　（A4またはレター用紙を印刷密度５%で印刷した場合）	
	TN6600	約6,000枚　（A4またはレター用紙を印刷密度５%で印刷した場合）	
ドラムユニット		約20,000枚	
外形寸法		360✕370✕235 mm	
重量		8.2 kg (消耗品除く)	8.3 kg (消耗品除く)
消費電力	印刷時	340 W 以下	
	ピーク時	750 W 以下	
	スタンバイ時	80 W以下	
	スリープ	6 W 以下	12W 以下
稼動音	印刷時	50 dB	
	スタンバイ時	27 dB	

※1　本体用紙カセットからの場合。用紙サイズやデータ量により遅くなることがあります。

※2　プリンタ始動から排紙完了までの時間

※3　HL-1440を使って1200 x 600 dpiにて印字を行うには、メモリの増設をおすすめします。また、他の条件においてもメモリの増設が必要となる場合があります。

※4　プリンタは４Mバイトのメモリを内蔵し、４MバイトのSIMMが装着されています。このSIMMを４Mバイトより大きいサイズのSIMMと交換することにより、最大で合計36Mバイトまで増設できます。

※5　ブラザーオリジナルのWindows用ネットワークプリンタ管理ユーティリティ

※6　デバイスの管理には標準的なウェブブラウザを使用

※7　指定された時間にEメールメッセージを自動的に印刷するユーティリティソフトウェア（Windows専用）

※8　Windows専用

※9　給紙枚数は10枚まで可能

※10　ローワートレイユニット（LT-400）のみ

※11　本体用紙カセットのみ

商標

「brother」のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。

Apple、Appleロゴ、Macintoshは米国およびその他の国々におけるアップルコンピュータ会社の登録商標であり、またTrueTypeは同社の商標です。

マイクロソフトおよび MS-DOSはマイクロソフト社の登録商標であり、Windowsは米国およびその他の国々における同社の登録商標です。
エナジー・スターは米国における登録商標です。

本取扱説明書に名前が挙げられているその他のブランド名、製品名はすべて、それぞれ該当する会社の登録商標です。

♦ 編集ならびに出版における通告

本取扱説明書はブラザー工業株式会社の監督下に、最新の製品および仕様を対象として編集されました。

本説明書の内容ならびに本製品の仕様は予告なく変更することがあります。

ブラザー工業株式会社は本書に掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したために生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

索引